

# 履修のてびき

---

東京農業大学

2024

世田谷 2～4 年次生用

応用生物科学部

生命科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

## 目次

⇒大学において学修するための基礎知識 I～VII	1
2024年度 年間授業計画	4
1 学生ポータルとは	5
2 履修登録	9
3 英語による専門教育プログラムの履修登録	15
4 2024年度特別講義について	18
5 全学共通科目「日本語」の履修登録	21
6 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録	21
7 履修登録の入力方法	22
8 履修確認について	27
9 WebClassの利用について	28
10 遠隔授業の受講方法	30
11 教材フォルダの使い方	31
12 Formsの使い方	32
13 科目ナンバリングについて	33
14 履修モデル	33
15 世田谷キャンパス1号館 教室配置図	49
16 世田谷キャンパスサイエンスポート教室配置図	50
17 キャンパスマップ(世田谷)	52
18 実験・実習・演習室短縮名称	54

## ⇒ 大学において学修するための基礎知識 I～VII

### I. 「履修する」ということ —所属する学科の課程を学習し修めること—

各学科の課程には、必修科目(所属する学科で必ず履修しなければならない科目)とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学習目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学習するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくことになります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学習に主体的に取り組んでください。

### II. 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年間の前学期(15回)と後学期(15回)の2学期に分け、学期ごとに、配当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します(※一部科目を除く)。

卒業までには、2学期×4年=8学期あります。卒業までの4年間の履修計画を立て、そして年度ごとに修正しながら、各学期の配当科目を学習していくことが大事です。

### III. 大学の授業科目は単位制 —学習時間と単位の関係—

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学習時間数と教室以外(授業以外)での学習時間数(予習・復習の時間)の合計で決まります。

2単位を修得するためには、

授業科目 1コマ = 2時間/週(本学では90分) × 15回

修得のための予習復習時間 = 4時間/週 × 15回

の時間数が必要とされます。

例えば、前学期で22単位(11科目)履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×11=44時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均約7時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。そこで本学では、年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています(※詳細は10ページ「2 履修登録(2)履修登録単位数」)

### IV. カリキュラム(学修体系)の特長 —いろいろあるのが本学の特長—

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び、難関を突破して入学してきました。大学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして皆さんを自信を持って社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛り込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

#### 1. 科目の種類

##### 【必修科目】

各学科に配当された学科のめざす専門分野の科目です。

必修科目は、必ず履修して合格の成績評価を受けないと卒業できません。

1つでも不合格だと卒業できません。

##### 【選択必修科目】

各学科に配当された学科のめざす専門分野の科目で、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

##### 【選択科目】

各学科に配当されたより高い専門性を修得するための科目です。

皆さんの意思で自由に選択できます。

## 2. 学修体系の特長

### 【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目】

本学のカリキュラムは、**総合教育科目**と**外国語科目**と**専門教育科目**の3つに大別されます。

※詳細は、「学生生活ハンドブック」の「履修編」の「授業科目の概要」を参照してください。

### 【英語による専門教育プログラム】

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。

本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。

グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。

自分の英語の実力アップを計りながら、『Basic』レベルの科目から『Advanced』科目へ挑戦してください。

### 【教職課程・学術情報課程】

教員免許取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。

これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

## V. 履修登録する ー 選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっているー

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

### 1. 自分の学修体系を決める

卒業までの4年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた計画を立ててください。

→ 在学生は、学生ポータル「あなたの履修」をもとに、自分の学修体系を再確認してください。

前年度までの学習計画を再検討するのに良い機会でもあり、さらに方向修正もできます。

### 2. 科目名をチェック ⇒ 科目名で大体の内容をイメージ

- ◇ 自分の学科配当の選択科目
- ◇ 自分の学部の共通配当科目
- ◇ 他の学科、学部の科目

### 3. シラバス(講義要項)で科目の講義内容を確認

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が記載されていますので、活用してください。

### 4. 履修登録 ⇒ 履修登録期間を確認

前学期の授業開始時に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。

後学期の科目については、後学期に履修登録期間・履修修正期間を設けています。

**後学期の履修登録期間・履修修正期間では、後学期科目の追加・削除・変更が可能です。**

履修登録するための諸注意を、9ページ以降に記載していますのでよく読んでください。

**【重要】履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。**

**忘れずに、また間違いのないよう慎重に登録してください。**

## VI. 学生の皆さんへの注意事項 ー 自分のことは自分で、責任を持ってー

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルを確認する習慣をつけてください。
3. 提出期限は厳守してください。**(期限後は受け付けません)**
4. 教務課窓口の業務時間 **(時間外は受け付けません)** 【平日(授業期間)】8:30~19:30(~17:00)  
※ ( )の時間は授業日及び追試験以外の業務時間です。

## Ⅶ. 学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

本学では、学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示などの順番も原則として次のように行います。

学部名等	略称名
<b>応用生物科学部</b>	<b>応生学部</b>
農芸化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
<b>生命科学部</b>	<b>生命科学部</b>
バイオサイエンス学科	バイオ
分子生命化学科	生化
分子微生物学科	微生物
<b>地域環境科学部</b>	<b>地域学部</b>
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
地域創成科学科	創成
<b>国際食料情報学部</b>	<b>国際学部</b>
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
国際バイオビジネス学科	ビジネス
アグリビジネス学科（2023年入学～）	ビジネス
国際食農科学科	食農
<b>英語による専門教育プログラム</b>	<b>英語専門</b>
<b>全学共通科目</b>	<b>全学共通</b>
<b>教職課程</b>	<b>教職</b>
<b>学術情報課程</b>	<b>学情</b>

## 2024年度 年間授業計画

(応用生物科学部・生命科学部・地域環境科学部・国際食料情報学部)

月	日(曜日)	行事予定
4	2日(火) 3日(水)～9日(火)  10日(水) 29日(月)	入学式 新入生ガイダンス・健康診断 在学生ガイダンス・健康診断 新入生オリエンテーション 等 前学期授業開始(7/12まで) 【授業日】昭和の日
5	1日(水)～2日(木) 6日(月) 18日(土)	【休講日】 【授業日】こどもの日振替休日 大学の記念日
6	1日(土)	教育後援会教育懇談会
7	12日(金) 15日(月)～19日(金) 22日(月) 26(金)～8/1(木)	前学期授業終了 前学期定期試験(7/15海の日は定期試験を実施)  追試験
8	3日(土)・4日(日)	オープンキャンパス 夏季休業 夏季集中授業、各種教育プログラム
9	上旬 21日(土) 25日(水) 26日(木) 28日(土)	前学期定期試験の評価開示 教育後援会地域懇談会  後学期授業開始(1/16まで) 東京農大ホームカミングデー
10	14日(月) 19日(土) 31日(木)	【授業日】スポーツの日 総合型選抜入試 収穫祭に伴う休講期間 準備・前夜祭10/31、収穫祭11/1～3、体育祭11/4、後片付け11/5
11	5日(火) 16日(土) 17日(日) 30日(土)	学校推薦型選抜入試 指定校、社会人選抜入試 外国人・帰国子女、運動選手、転入学・編入学・学士編入学入試
12	14日(土) 24日(火)	私の夢総合型選抜入試 冬季休業
1	3日(金) 6日(月) 15日(水)・16日(木) 16日(木) 17日(金)  18日(土)・19日(日) 20日(月)～24日(金) 31日(金)	後学期授業再開 【補講日】 後学期授業終了 【休講日】大学入学共通テスト準備日 卒業論文題目届の提出期限(3年次生) 大学入学共通テスト 後学期定期試験 卒業論文の提出期限(卒業年次生)
2	3日(月)～5日(水) 6日(木)～12日(水) 下旬	一般選抜入試A日程 追試験 後学期定期試験の評価開示
3	3日(月) 6日(木) 7日(金) 20日(木・祝)	一般選抜入試B日程 【休業日】学校法人の創立記念日 卒業確定者及び進級確定者の発表 学位記授与式

注: 上記スケジュールは予定であり、新型コロナウイルス感染症の状況等により変更することがあります。

変更が生じた場合は、随時、学生ポータルにて周知します。

# 1 学生ポータルとは

学生ポータルとは、学生生活を送る上で必要な情報をWeb上で確認できるシステムです。個人の呼び出しや授業の情報等がインターネットに接続しているパソコン・スマートフォン等から確認できます。また、履修登録や成績の確認、オフィスアワー・シラバスの検索など授業の受講に必要な手続きにも利用します。  
**※ここではパソコン用画面に沿った説明を記載しています**

## (1) ログインの方法



東京農業大学ホームページ  
<https://www.nodai.ac.jp/>

①[在校生の方]を選択

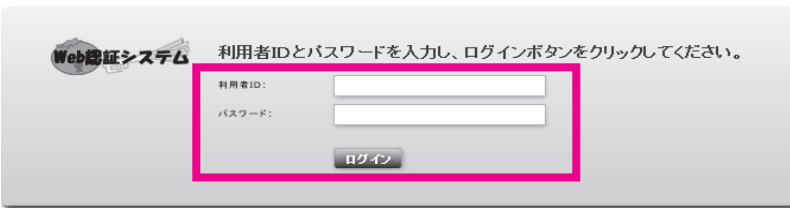
②[学生ポータル]を選択

使用するデバイスを選んでアクセスしてください。

…「学生ポータルパソコン用」

…「学生ポータルスマートフォン用」

## 東京農業大学



③「利用者ID」に学籍番号を入力し、「パスワード」を入力し、「ログイン」を押します。

## (2) 各メニューの使い方



## A 上部メニューバー

### ◇ My時間割

各自の授業時間割を確認できます。

教室変更や休講情報、課題の連絡等の重要な情報を確認できます。

### ◇ 教務掲示

授業に関する情報の確認や履修登録、成績の確認ができます。

### 講義連絡

講義連絡対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
木4限 (14:40-16:10)		山田 隆一	教室	後学期

講義連絡の詳細

メッセージ種別	講義連絡						
送信者	山田 隆一						
タイトル	農業経営学スライド						
詳細	農業経営学の授業で使用したスライドの重要部分をアップします。復習用に使ってください。						
URL							
添付ファイル	<table border="1"> <tr> <td>ファイル1</td> <td>農業経営学(経営組織)</td> </tr> <tr> <td>ファイル2</td> <td>農業経営学(フードセキュリティ)</td> </tr> <tr> <td>ファイル3</td> <td>農業経営学(まとの)</td> </tr> </table>	ファイル1	農業経営学(経営組織)	ファイル2	農業経営学(フードセキュリティ)	ファイル3	農業経営学(まとの)
ファイル1	農業経営学(経営組織)						
ファイル2	農業経営学(フードセキュリティ)						
ファイル3	農業経営学(まとの)						
備考							

「開講科目名」を選択すると

授業についてのお知らせを確認できます。

重要なお知らせもありますので必ず確認してください。

### レポート課題

レポート課題対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
金4限 (14:40-16:10)		池澤 英子	教室	後学期

レポート課題情報の詳細

メッセージ種別	レポート課題
送信者	池澤 英子
タイトル	復習レポート(Mystery Box)
詳細	<p>期末レポートのお知らせです。まず、添付のワーキング資料を注意深く読み、レポートの指示を確認してください。その上で、下記リンクを以てレポートを作成し提出してください。なお、本課題はこれまでと異なり、レポートの回答時間・制限を設けておりません。</p> <p><a href="https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=UkP55P-Rh40K-JHSRtzeSIA0LYJUNhFEhYqJKberIxUQjBFWVZDU1s0T0NHw-JOSk9DRU9l0VhVXND4u">https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=UkP55P-Rh40K-JHSRtzeSIA0LYJUNhFEhYqJKberIxUQjBFWVZDU1s0T0NHw-JOSk9DRU9l0VhVXND4u</a></p> <p>以上です。</p>
提出期限	2/1(月) 23:59 ■期限後の提出を許可しない
添付ファイル	Mystery_Box_report.pdf
備考	

「開講科目名」を選択すると、レポート課題

についてのお知らせを確認できます。

作成したレポートは、以下の手順で提出してください。

[レポートを提出する]を押すと

詳細と下記の画面が確認できます。

(履修中の科目のみレポート課題を提出できます。)



### 提出状況

提出状況	未提出
提出ファイル*	ファイルを選択 選択されていません
提出コメント	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <small>(1000文字以内で入力してください。)</small>
教員コメント	
提出日時	-

前の画面へ戻る      >> レポートを提出する

[ファイルを選択] から作成したファイルを選択してください。必要があれば提出コメントを入力し、[レポートを提出する]を押してください。  
(提出した後に提出状況の表示「提出済み」「受理」「再提出」等を必ず確認してください。)

- ・時間割表
- ・教務掲示一覧

教員および教務課等から、授業に関するお知らせを掲示しています。  
講義の受講方法、レポート課題についての連絡など、授業を受ける上で必要な情報を確認できます。

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | **教務掲示** | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート

週間スケジュール | 時間割表 | **教務掲示一覧** | 週を表示

2/8 (水) | 2/9 | 2/11 (土) | 2/12 (日) | 2/18 (月) | 2/14 (火)

- ①「教務掲示」から [教務掲示一覧] を選択

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート

教務掲示一覧

現在表示中の教務情報は以下の通りです。  
表示内容を絞り込めば、下の検索条件から絞り込んでください。

種別	開講科目名	曜日時限	担当教員	詳細	▼ 掲示日
講義連絡	産別生理学	月2限 (10:40-12:10)	福山 直人	タイトル: 期末(定期)試験に際して 添付ファイル: 無	2021/02/01 18:55
レポート課題	バイオメカニクス 産別産科	金3限 (13:00-14:30)	半林 真一 寺野 梨香 渋谷 佳男	提出締切: 2/9 (金) 15:00 添付ファイル: 無	2021/02/01 18:28
講義連絡	産別生理学	月2限 (10:40-12:10)	福山 直人	タイトル: 産別生理学 期末(定期)試験に際して 添付ファイル: 無	2021/02/01 12:48

- ②履修している科目に関するお知らせが表示されます。

### ～メッセージ種別～

休講情報	休講する科目と日程について
補講情報	休講した科目の補講日等について
時間割変更情報	教室・時限・曜日変更等 (一時中変更)について
講義連絡 (p. 6)	授業に関するお知らせや課題・試験等について
レポート課題 (p. 6)	レポート課題の詳細と提出について
授業日程変更	授業の時限・教室変更 (学期中変更)について

### 【教務掲示の検索方法】

ページ下部の検索条件から必要な情報を検索できます。  
詳細検索条件の「▼検索条件を開く」をクリックすると、過去の掲示内容や教員名・開講番号で検索できます。

・あなたの履修

当該年度の履修登録期間に登録した科目の確認ができます。

・あなたの成績台帳

成績、単位修得状況、GPA等を確認することができます。

◇ シラバス

授業の内容を確認することができます。成績評価の基準等、履修登録する前に必ず確認してください。

◇ オフィスアワー

授業担当者の連絡先や質問方法、質問時間が掲載されています。授業時間外で質問する場合に利用してください。

◇ キャビネット

ガイダンス資料や時間割表などをアップロードしています。

**B** 週間スケジュール

---

授業の予定や大学の予定を確認できます。

なお、隔週科目は毎週表示され、集中科目は表示されません。

**C** お知らせ

---

◇ 全学共通のお知らせ

全学生に関わる大切なお知らせです。

◇ 各キャンパスからのお知らせ

所属キャンパスごとの大切なお知らせです。

◇ あなた宛のお知らせ

個人宛に送っている大切なお知らせです。

教員や事務からの呼び出し等のお知らせもあります。

## 2 履修登録

### (1) 履修登録の流れ

◇履修登録にあたり「履修のてびき」「学生生活ハンドブック」「シラバス」で修得すべき単位数、各授業科目の履修方法、履修条件を理解しておくことが大切です。

◇履修登録は Web 履修登録です。履修登録の入力方法(22ページ)を熟読し、手続きしてください。

※履修登録前に「住所等の登録」、「住所等の変更/確認」が必要です(27ページ参照)。

履修登録の流れ	前学期	後学期	詳細・備考
ガイダンス 履修計画を立てる	4月上旬		「履修のてびき」(当冊子)を配付等  履修のてびき(当冊子)、各学科の「授業科目配当表」(学生生活ハンドブック)、「シラバス(講義要項)」・「時間割表」(学生ポータル)を参照し、履修計画を立ててください。
授業開始	4月10日	9月28日	各自の履修計画に沿って授業に出席してください。 ★履修確定前の授業も出席してください。
履修登録期間	4月10日 ～ 4月16日	9月中旬	学生ポータルの[教務掲示]の[履修登録(修正)]から①で計画した科目を登録してください。(22ページ 7 履修登録の入力方法) ★登録が完了した後、最終確認のため必ず印刷または画面のデータを保管してください。  <b>期間中は終夜利用可能 ただし、8:30～10:30はメンテナンスのため停止 最終日は17:00で終了</b>
履修確認	4月22日	9月下旬	学生ポータル「あなたの履修」にて正しく登録されているか必ず確認してください。
履修修正期間	4月24日 ～ 4月26日	10月上旬	履修登録の入力方法に従い学生ポータル「履修登録(修正)」から履修修正してください。  <b>期間中は終夜利用可能 ただし、8:30～10:30はメンテナンスのため停止 最終日は17:00で終了</b>
履修確認	5月6日	10月中旬	学生ポータル「あなたの履修」にて履修修正が反映されているか必ず確認してください。

※後学期日程は7月下旬に学生ポータルにてお知らせします。

**全学生が必ず各自で履修登録し、登録内容を確認してください。**

## (2) 履修登録単位数

### ①履修登録単位数の制限(キャップ制)

学期ごと及び1年間に履修できる単位数は制限されています。これをキャップ制といいます。

上限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除してください。

**履修上限は、学期ごとに22単位まで・年間44単位までです。**

**ただし、栄養科学科の学生は学期ごとに25単位まで・年間49単位まで**

※ リメディアル教育科目、専門実用科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とします。

### ②履修登録単位数カウント方法

以下のようにカウントします。

- ◇ 前学期科目…前学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 後学期科目…後学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 通年科目…単位数の1/2を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 集中科目…年間の単位数としてカウントします。

例) 右の単位数を登録した場合…前学期科目:20単位、後学期科目:18単位、通年科目:2単位、集中科目:4単位

前学期		後学期		年間	
対象科目	単位数	対象科目	単位数	対象科目	単位数
・前学期科目	20			・前学期科目	20
		・後学期科目	18	・後学期科目	18
・通年科目1/2	1	・通年科目1/2	1	・通年科目	2
				・集中科目	4
前学期計	21	後学期計	19	年間計	44

## (3) 履修登録上の注意事項

- ◇ 在籍学年の必修科目は自動登録されているので、登録する必要はありません。  
万が一、自動登録科目を変更する場合は、一度科目を削除して新たに登録する科目の履修番号をその時間帯に登録してください。  
**※原級・留年・再入学・転学部・転学科・転入学及び編入学した者は、卒業まで自動登録されません。各自で履修登録してください。**
- ◇ **※必修科目を再履修する場合も自動登録されません。各自で履修登録してください。**
- ◇ 隔週で開講する科目は、同一時限に登録してください。
- ◇ 集中科目は、開講学期にあわせて集中講義選択画面から登録してください。
- ◇ 上級学年の担当科目は履修できません(他学科・他学部聴講の場合も同様)。
- ◇ 後学期の履修登録期間には前学期科目(通年・前学期集中科目を含む)の登録・削除はできません。
- ◇ 学生生活ハンドブックの「授業科目担当表」と開講学期が異なることがあるので注意してください。  
時間割表に沿って登録してください。

## (4) 科目ごとの注意事項

### ①英語科目

所属学部によってクラス分けの方法が異なります。決定したクラスは変更できません。履修については学科ガイダンス等で説明があるので確認してください。地域環境科学部に在籍していて再履修する学生は、再履修クラス(Sクラス)を履修してください。

※ 外国語科目の基礎英語科目・実用英語科目については、他学部・他学科聴講は認めません。

## ② スポーツ・レクリエーション(一)・(二)

シラバス(授業実施方法、実施種目など)を確認してから第1回目の授業を受講してください。

履修人数に定員を定めており、**次回の授業で履修者の決定とクラス分けを行いますので、履修希望者は必ず出席してください。**履修者の定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行います。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できます。教科書は、授業を履修できることが決定した後に購入してください。

**第1回目の授業(桜丘アリーナ 2F フロアに集合、体育館用シューズ着用)では運動は行わないので私服のまま可です。**

※2年次以上の学生は他学科のクラスでも履修可能ですが、必ず希望するクラスの第1回目の授業に出席してください。

## ③ ステップ制のある授業科目

◇「国際食料情報学部 外国語科目の初修外国語」

(中国語、フランス語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、ハングル・韓国語)

・科目の**(一)→(二)→(三)→(四)順序に従い単位修得する**科目です。

例えば(一)の単位を修得しなければ、(二)を履修することができません。

◇「特別講義 C コース データサイエンス基礎」

・履修には **情報基礎(一)、情報基礎(二)の単位修得が必要**です。

## ④ クラス分けのある授業科目

◇ **クラス分けは、所属学科の在学年次の開講科目のみに適用されます(一部を除く)。学籍番号でクラス分けされる科目は、学生ポータルで掲示されるクラス分け表に基づき、自分の所属するクラスを確認してください。**

◇ 下級学年次のクラス分けのある科目は、クラスを選んで登録してください(一部を除く)。

◇ 学科指定のある科目は、各自の学科で履修してください。

◇ 外国語科目・専門教育科目の学科基礎科目に、A・B・C…でクラス分けがある場合は、クラスを選択できます。ただし、情報基礎、英語科目は指定がある場合には、ガイダンス等の指示に従ってください。

◇ 原級・再履修の学生は、開講クラスの最後のクラスで履修してください(栄養を除く)。

◇ 教職・学術情報課程の科目に、学科指定以外のクラス分けがある場合は、クラスを選択できます。

## ⑤ リメディアル教育科目

リメディアル教育科目は、1年次に開講します。年度当初に受講対象者を決定し、対象学生は指定の授業に必ず出席しなければなりません。他学部・他学科の科目は履修できません。**また、卒業要件単位には含まれません。**

## ⑥ 他学部・他学科聴講

◇ 他学部・他学科聴講は、上級学年の配当科目は履修できません。

◇ 他学部・他学科の履修登録単位の上限は、在学中合計16単位(栄養は合計30単位)です。

**※可否にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされます。**

◇ 次の科目については他学部・他学科聴講の対象外です。

・実験・実習・演習(研修を含む)科目(開発「海外農業実習(一)(二)(三)」を除く)

・各学部の総合教育科目(スポーツ関係科目を除く)、外国語科目(初修外国語科目を除く)

・一部の学部または学科開講科目(時間割表に★または☆マークの入っているもの)

**※★:他学部・他学科履修不可 ☆:他学部または他学科履修不可**

## ⑦ その他、各学部の特有用科目

◇**初修外国語科目は、いずれかを選択して履修してください(複数の語学を選択することはできません)。**

※ 国際食料情報学部の開講科目は該当外です。

学部	詳細
応用生物科学部	「中国語」、「スペイン語」
生命科学部	「中国語」、「スペイン語」、「ドイツ語」
地域環境科学部	「ドイツ語」、「中国語」

### (5) 同名科目

次の表は、複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧です。以下の点に注意してください。

◇ **所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は、他学部・他学科聴講できません。**

【例】 バイオの学生は微生物の「応用微生物学」を履修できません。

→バイオ3年次に「応用微生物学」の開講があるため。

◇ 同名科目において、既に単位修得している場合は再度の履修はできません。

科目名	学部	学科	学年
日本国憲法	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	2
	生命学部	全学科	2
	地域学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1
化学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
生物学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
物理学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
地学	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	2
中国語(一)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
中国語(二)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
スペイン語(一)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
スペイン語(二)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1

科目名	学部	学科	学年
ドイツ語(一)	生命学部	学部共通	1
	地域学部	学部共通	1
ドイツ語(二)	生命学部	学部共通	1
	地域学部	学部共通	1
アイソトープ利用論	生命学部	バイオ	3
	生命学部	微生物	3
バイオインフォマティクス	応生学部	化学	3
	応生学部	醸造	3
	生命学部	微生物	2
バイオプロセス工学概論	応生学部	全学科	3
	生命学部	バイオ	3
応用微生物学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	3
	生命学部	微生物	3
解剖生理学	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
科学と哲学	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
科学の歴史	地域学部	全学科	1
科学メディア論	応生学部	全学科	3
	生命学部	微生物	3
環境科学	農学部	全学科	3
	応生学部	全学科	3
環境化学	応生学部	化学	3
	応生学部	醸造	3
環境学習と体験活動	地域学部	全学科	2
環境倫理	国際学部	全学科	2
機器分析学	農学部	資源	3
	生命学部	生化	3
	生命学部	微生物	3
機器分析学概論	応生学部	全学科	3
	生命学部	バイオ	3
起業論	応生学部	全学科	3
	生命学部	全学科	3
技術者倫理	地域学部	全学科	3
経営学入門	国際学部	全学科	1
経済学入門	国際学部	全学科	1
経済入門	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	2
	生命学部	全学科	1

科目名	学部	学科	学年
芸術	農学部	全学科	2
現代の環境問題	応生学部	全学科	2
現代社会と経済	地域学部	全学科	3
現代社会の諸問題	農学部	全学科	2
源流文化学	地域学部	全学科	2
公衆衛生学	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	3
国際関係と社会問題	地域学部	全学科	3
国際関係を考える	農学部	全学科	2
国際地域農業論	国際学部	ビジネス	2
	国際学部	食農	1
国際農業経済論	国際学部	開発	3
	国際学部	経済	2
心の構造	応生学部	全学科	1
昆虫学	農学部	農学	1
	農学部	資源	2
栽培学入門	国際学部	全学科	1
細胞生物学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
	生命学部	バイオ	1
食育コース	応生学部	全学科	3
食品衛生学	応生学部	化学	3
	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	2
	生命学部	バイオ	3
	国際学部	食農	2
食品化学	農学部	デザイン	2
	応生学部	醸造	3
	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	2
食品加工学	応生学部	醸造	1
	応生学部	栄養	2
	国際学部	食農	2
食品機能学	農学部	デザイン	3
	応生学部	醸造	3
	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	3
	国際学部	食農	3
食品工学概論	応生学部	全学科	3
食品製造学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	2
食品微生物学	農学部	動物科学	2
	農学部	デザイン	3
	応生学部	醸造	1
自然再生技術論	農学部	全学科	3
実験計画法	農学部	農学	3
	農学部	デザイン	2
	応生学部	化学	4
実験動物学	農学部	動物	1
	生命学部	バイオ	3

科目名	学部	学科	学年
植物育種学	農学部	農学	2
	農学部	資源	4
	国際学部	食農	3
植物栄養学	農学部	全学科	2
植物生長調節論	農学部	全学科	3
植物生理学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
植物生理生態学	農学部	全学科	2
植物病理学	農学部	農学	1
	農学部	資源	1
	応生学部	化学	3
	生命学部	微生物	2
植物防疫論	農学部	農学	3
	農学部	資源	3
	農学部	デザイン	3
進化論	応生学部	全学科	2
	生命学部	バイオ	3
心理学概論	農学部	全学科	1
数学	農学部	全学科	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	微生物	1
	地域学部	工学	1
	国際学部	全学科	1
生化学	農学部	全学科	2
	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	1
生化学(一)	生命学部	生化	3
	応生学部	醸造	2
生化学(二)	応生学部	栄養	2
	応生学部	醸造	2
生産経営概論	応生学部	全学科	3
政治のしくみ	国際学部	全学科	1
生体高分子化学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	2
生物工学概論	応生学部	全学科	2
	生命学部	バイオ	3
生物統計学	農学部	動物科学	2
	応生学部	健康	3
	生命学部	全学科	1
生物有機化学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
	生命学部	バイオ	1
生命科学	農学部	全学科	3
	応生学部	全学科	3
生命科学概論	生命学部	全学科	3
生命倫理	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1

科目名	学部	学科	学年
測量学	地域学部	森林	1
	地域学部	工学	2
	地域学部	造園	2
	地域学部	創成	2
地域環境科学概論	地域学部	全学科	1
地球環境と炭素循環	地域学部	全学科	1
地域再生・活性化	国際学部	全学科	1
地域と文化	地域学部	全学科	2
畜産学入門	国際学部	全学科	2
知的財産概論	応生学部	全学科	3
	生命学部	バイオ	3
	生命学部	微生物	3
地理学	国際学部	全学科	2
調理学	応生学部	栄養	1
	国際学部	食農	2
哲学	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
統計学	応生学部	全学科	1
	地域学部	全学科	2
統計基礎	国際学部	全学科	2
動植物園論	農学部	全学科	3
動物解剖学	農学部	動物科学	2
	農学部	資源	2
	農学部	デザイン	2
動物管理学	農学部	動物科学	1
	農学部	資源	1
	農学部	デザイン	1
動物生理学	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
土壌学	農学部	農学	1
	農学部	資源	1
	応生学部	化学	2
土壌肥料学	地域学部	創成	3
	国際学部	食農	3
日本史	国際学部	全学科	1
農学概論	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	微生物	1
	地域学部	創成	1
	国際学部	食農	1
農学原論	農学部	全学科	1
農業インターンシップ(一)	農学部	全学科	1
農業インターンシップ(二)	農学部	全学科	1
農業気象学	農学部	全学科	2

科目名	学部	学科	学年
農業経営学	農学部	農学	2
	農学部	動物科学	3
	農学部	資源	3
	農学部	デザイン	3
	国際学部	開発	2
	国際学部	経済	2
	国際学部	食農	3
農業経済学	国際学部	開発	1
	国際学部	経済	1
農と科学の歴史	応生学部	全学科	1
農産物マーケティング論	農学部	全学科	3
農村社会学	国際学部	経済	2
	国際学部	食農	3
微生物学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	バイオ	1
病理学	応生学部	健康	3
	応生学部	栄養	2
文化人類学	農学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1
文学概論	地域学部	全学科	1
分子遺伝学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	3
分子生物学	農学部	全学科	3
	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
分子生物学(一)	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
分子生物学(二)	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
分析化学	応生学部	醸造	1
	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	生化	2
法学入門	国際学部	全学科	1
法と社会	応生学部	全学科	2
無機化学	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	生化	2
有機化学	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	2
	生命学部	バイオ	1
有機化学(一)	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	1
	生命学部	生化	1
有機化学(二)	応生学部	化学	1
	生命学部	生化	2



### 3 英語による専門教育プログラムの履修登録

Courses Offered by Special Program (Conducted in English) :

「Agriculture, Food and Environment」

#### ◎ 「英語による専門教育プログラム」受講の勧め

日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本およびほかのアジア諸国における食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、開講している科目です。英語での授業を通じて、日本人の学生にとっては、専門分野を幅広い視点で学ぶことができ、また留学生や海外協定校学生とともに英語で学ぶ絶好の機会となります。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強くお勧めします。

#### (1) Program Title:

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment

#### (2) Rationale

An integrated approach is important for the solution of problems of mankind in such areas as food, environment, health, resources and energy, which are all mutually related and interwoven. The food problem generally refers to problems of food production, distribution and consumption, thus covering a wide range of topics. For instance, food production is closely related not only to natural environment but also agricultural and food processing technologies. Distribution of food is determined by political and economic mechanisms, while improved storage and distribution technologies have tremendously contributed to the widening scope of marketing. Food consumption is highly related to the level of income, but culture, social norms and dietary habits are other key determinants of what and how people consume food.

Modern agricultural science has greatly contributed to increased food production, which has expanded beyond global population growth. However, problems of environmental destruction and unassured food safety have also emerged. The urgent need to assure environmental conservation and safe food supply are now globally recognized. At Tokyo University of Agriculture, a multidisciplinary, all-university-education program is now being offered for the study of food and environment. Integrated learning of agriculture, food and environmental issues guides students to see how they can make a contribution to solving global issues in modern society.

This program provides the opportunity for Japanese students as well as international students to gain holistic understanding on issues of food, agriculture and environment in Japan and other Asian countries.

#### (3) Time Table (in 2024)

The courses are offered to all students in 2024. It is our advice that you select courses according to your English ability.

##### 【First semester】

**Environment and Agriculture**

**Agriculture and Economic Development (Food and Environment in Economic Development)**

**Agricultural Trade\***

**Food and Health 1**

**Forest and Forestry**

**Global Food Systems**

**Japanese Agricultural Development\***

Plants for Landscape Architecture(Life History and Applications of Landscape Plants)  
Planning and Design of Landscape Architecture  
Vegetable Production Technologies for International Cooperation\*  
Introduction to Bioindustry\*  
Introduction to Japanese Linguistics (Edo Aesthetics and Environmental Resiliency)  
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population\*

\* This course will not be offered after 2025.

**【Second semester】**

Japanese Food Culture (Comparative Nature Study from Cultural Perspective)  
Agricultural Scientific English for International Cooperation\*  
Agro-Environmental Engineering  
Comparative Developing Agriculture  
Comparative Food Production Technologies  
Ecology and Agricultural Production  
Agroecology and Food Production (Ecology and Food Production)  
Food and Health 2  
Farmers and Consumers in Japan (intensive)\*  
Group Approach to Food and Environment (intensive)  
Field Study of Food and Environment (intensive)  
Sustainable Agriculture in Asia (intensive)  
Molecular Biology and Biotechnology

\* This course will not be offered after 2025.

**(4) 修得単位数について**

本プログラム科目は、30 単位を上限として修得ができます。修得した単位は、東京農業大学学則第 15 条の 3 に定められているとおり、卒業単位に含めることができます。ただし、学科毎に卒業単位に含めることができる単位の上限が異なるため、注意してください。

2024年度 英語による専門教育プログラムガイドライン一覧(旧カリ)

科目名	項目	開講 キャンパス	主な履修対象者	履修者に求める英語能力	難易度	履修者に求める専門性	備考
Introduction to Japanese Linguistics/ 旧カリ: Edo Aesthetics and Environmental Resiliency		世田谷	全学生	中級以上	中級	日本語や英語、もしくは言語一般に興味があればよい	
Environment and Agriculture		世田谷	全学生	初級	初級	-	
Agriculture and Economic Development/ 旧カリ: Food and Environment in Economic Development		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	中級	中級	-	英語でのプレゼンテーションが必須(全員)である。
Food and Health 1		世田谷	外国人留学生、 visiting student、 日本人学生	中級	中級	食品、発酵および健康に興味を持ち、ある程度の専門用語を理解できること。	毎回、異なるテーマに焦点を当てたオンライン講義で知識を広げます。
Forest and Forestry		世田谷	全学生	英語能力よりも学ぼうとする姿勢を重視	初級	-	森林に関心のある学生。※学部学科を問いません
Global Food Systems		世田谷	全学生	初級	初級～中級	一般常識と知的好奇心があれば問題ない	
Japanese Agricultural Development【旧カリ補講】		世田谷	全学生	初級～中級	初級～中級	日本の農業や食品産業に関する基礎的な知識があるとよい	
Plants for Landscape Architecture/ 旧カリ: Life History and Applications of Landscape Plants		世田谷	全学生	中級	中級	植物学に興味があること	現地見学を行う(休日)
Planning and Design of Landscape Architecture		世田谷	外国人留学生、 visiting student	中級	中級	日本の自然環境や文化	休日を活用して現地見学を数回、実施する。大人数の引率は困難である
Vegetable Production Technologies for International Cooperation【旧カリ補講】		世田谷	全学生	中級以上	中級	Agronomy、栽培学である	
Introduction to Bioindustry【旧カリ補講】		オホーツク	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	初級～中級	初級～中級	自然科学一般である	
Agricultural Scientific English for International Cooperation【旧カリ補講】		世田谷	visiting student、 協力隊希望者	-	中級	-	講義は日本語で実施(Lectures will be given in Japanese)
Agricultural Trade		世田谷	全学生	中級以上	中級	農業経済関連の時事に関心が望ましい	
Agro-Environmental Engineering		世田谷	全学生	初級	初級	-	
Comparative Developing Agriculture		世田谷	全学生	中級以上 (英語でディスカッションできるレベル)	中級	-	
Comparative Food Production Technologies【旧カリ補講】		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	英語力中級～上級	中級～上級	作物学、遺伝、育種学、害虫学、環境科学、森林生態学である	
Ecology and Agricultural Production		厚木	全学生	中級以上	中級	学部2年時までの必修専門科目の単位をすべて修得していること	専門的な教育を英語で実施するため、ある水準以上の英語力と農学の基本的な知識を必要とする
Agroecology and Food Production/旧カリ: Ecology and Food Production		世田谷	全学生	英語の専門テキストが無理なく理解でき、 英語でディスカッションできるレベル	中級以上	-	
Food and Health 2		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級以上	中級～上級	食品と健康に興味があり、ある程度の専門用語を理解できること	
Farmers and Consumers in Japan【旧カリ補講】		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	学ぶ意欲を重視	初級～中級	-	フィールドトリップのための適正規模とする
Group Approach to Food and Environment		世田谷	日本人留学生	上級 (TOEIC900以上目安)	中級～上級	海外認定校の学生と英語でのディスカッションを行うための英語力と語力を身につけることとする	8月に開催される「食と農と環境を考える世界学生サミット」に議案または発表者として参加できることが条件である
Field Study of Food and Environment※		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、アグロエコロジーに興味を持つものとする	7月来日集中開催される「Comprehensive International Education Program (CIEP)」に参加することが条件である (約1週間の宿泊を伴うプログラム、参加費80,000円程度は自己負担)
Sustainable Agriculture in Asia※		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、アグロエコロジーに興味を持つものとする	7月来日集中開催される「Comprehensive International Education Program (CIEP)」に参加することが条件である (約1週間の宿泊を伴うプログラム、参加費80,000円程度は自己負担)
Molecular Biology and Biotechnology		世田谷	全学生	中級以上	上級	基礎的な生物学の知識を有すること	
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population【旧カリ補講】		オホーツク	日本人学生、 外国人留学生	中級以上	中級以上	-	英語能力が中級以上ではないと、ディスカッションなどに参加しにくくなる
Japanese Food Culture/ 旧カリ: Comparative Nature Study from Cultural Perspective		世田谷	全学生	中級以上	中級	日本の食に興味があるとよい	

※1 英語能力の目安 初級:TOEIC300程度 中級:TOEIC400程度 上級:TOEIC500以上

## 4 2024年度特別講義について

### (1) はじめに

特別講義は、学生の皆さんが幅広い教養・素養を身につけ、卒業後各方面で最大限に能力を発揮できるようになることを目的として開講します。本学の専門分野の教育は充実しており、その内容・成果に十分な自信を持っていますが、それに加えて、教養面での教育を重視する意味で、様々な内容による特別講義を開講します。

2024年度の特別講義は、専門教育を補完し、社会に出て役立つ、さらに就職試験にも役立つ多分野の教養的講座として、世田谷キャンパスでは8コースを開講します。

なお、特別講義(一)～(四)は開講時間が重ならなければ複数履修することができ、上級学年になってからでも履修することができます。

### (2) 特別講義の履修登録について

履修する場合は、次のA～Hコースの中から受講するコースを選び履修登録してください。

コース	学期	曜日/時限	科目名	担当教員
A	通年	木 5～6	社会開発実践論	入江憲治
B	通年	水 5	東京農業大学 STEAM 教育講座	上岡美保
C	前学期	月 5	データサイエンス基礎	三宅修平
D	前学期	木 5	地域創生講座－地生の現状と課題・あるべき姿－	大林宏也
E	前学期	金 2	民俗と芸能 (世田谷6大学コンソーシアム連携授業)	大谷津早苗
F	後学期	火 2	『銀の匙』で学ぶ経営学 (世田谷6大学コンソーシアム連携授業)	積田淳史
G	後学期	火 5	起業家精神と事業開発	大浦裕二
H	後学期	木 5	地域創生講座－農林水産業振興によるひと育て－	高柳長直

#### 【注意事項】

開講曜日・時限が異なれば1年間に複数コースの履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。

はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を登録し、順次(二)・(三)・(四)を登録してください。

下表にもとづき履修登録をしてください。

コース	特別講義(一)	特別講義(二)	特別講義(三)	特別講義(四)
Aコース	S3600	S3601	S3602	S3603
Bコース	S3604	S3605	S3606	S3607
Cコース	S3608	S3609	S3610	S3611
Dコース	S3612	S3613	S3614	S3615
Eコース	S3616	S3617	S3618	S3619
Fコース	S7600	S7601	S7602	S7603
Gコース	S7604	S7605	S7606	S7607
Hコース	S7608	S7609	S7610	S7611

### (3) 世田谷6大学コンソーシアム連携授業

本講義は、世田谷6大学コンソーシアム協定大学（国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京農業大学、東京都市大学）間において、それぞれの大学の特色ある授業科目を他大学において開講するものである。本学では、2024年度の世田谷6大学コンソーシアム連携授業として、昭和女子大学の<sup>大谷津早苗</sup>先生による「Eコース民俗と芸能」、成城大学の<sup>積田淳史</sup>先生による「Fコース『銀の匙』で学ぶ経営学」を開講する。

(2024年度のみ開講)

#### (4) コース別開講目的

##### A コース 社会開発実践論

＜コーディネーター 国際農業開発学科 教授 入江憲治＞

グローバル化する現代社会は、変動と課題の時代である。国際社会は、世界をより良い方向に変える為に、2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標」(SDGs)の取り組みを推進している。このような社会変革の時代には、多種多様な社会の場において、パイオニア的存在として社会が取り組むべき課題を率先して解決することが、これからの時代を生きる人に求められている。本講義では、社会の様々な分野で活躍する方々を講師に迎え、社会における苦勞、苦心、喜怒哀楽などの体験談や社会活動に対する実践的な技術、知識、手法を教授する。

##### B コース 東京農業大学 STEAM 教育講座

＜コーディネーター 国際食農科学科 教授 上岡美保＞

今日、わが国の目指す社会像として、ウェルビーイングの実現や社会的分断の改善、国際的視野に基づいたSDGsへの貢献、そして全世代における学習社会の構築などのことが挙げられている。その実現のために高等教育における人材育成としては、自分の興味関心を追究しながら高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定し、その解決を多角的に、多様な人材とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造していく人材が求められている。そのための手段として、文理融合の学びや探究学習、STEAM教育の強化が重視されている。本講義では、特にSTEAM教育(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)に視点を置き、社会課題に対するSTEAMの事例をあげながら、身近な話題を総合農学の視点から紐解いていく。

##### C コース データサイエンス基礎(※P20 参照のこと)

ライブオンライン講義、オンデマンド講義およびPCを用いた実習を通し、数理、統計学、AI、データサイエンス分野の動向を俯瞰し、これらの分野の基礎的素養及び知識・技能の修得を目的とする。本講義は、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの必修科目となる。

##### D コース 地域創生講座－地生の現状と課題・あるべき姿－

＜コーディネーター 地域環境科学部長 教授 大林宏也＞

東京への一極集中、地方の過疎と少子高齢化が進行するなか、人口減少に歯止めをかけ、地域創生・SDGsの推進や若者等の雇用創出を図る。また、女性の活躍の場づくりなど、地域の雇用安定を図り、成長力を確保するための国の政策などを学び、実践し得る地域創生人財を養成する。本講義では政府の専門家によりテーマ別に関連法案、政策や予算の背景、プロセスなどを重点にその策定経緯を学ぶ。

##### E コース 民俗と芸能

＜昭和女子大学 教授 大谷津早苗＞

日本の芸能の多様性、重層性を理解すると共に、伝統芸能の継承の問題をテーマとする。日本各地に伝存する民俗芸能をとりあげ、民俗学や芸能史・宗教史・国文学などと関連させながら、伝承資料としての民俗芸能の特色と価値を検討する。また芸能表現の背後にある日本人の心意を探る。

##### F コース 『銀の匙』で学ぶ経営学

＜成城大学 准教授 積田淳史＞

農業高校を舞台としたコミック『銀の匙』は、成長・グループダイナミクス・起業・農業・食にかかる産業など、経営学に関わる多様なトピックを包含する、娯楽としても教材としても優れた作品である。『銀の匙』を題材に、グループディスカッション中心の授業を行う。受講生は資料を自ら全巻用意し、指定された巻を授業に携帯する。

##### G コース 起業家精神と事業開発

＜コーディネーター 食料環境経済学科 教授 大浦裕二＞

日本の起業家精神を持った人材および起業家を増やすことを目的とする。研究を社会実装し、事業として成長する領域までを視野に入れながら「事業を生み出す」ことを仮想的にワークショップ形式で行うことで、小さな成功体験と広い世界観を学ぶことができます。また、起業家に関する学識者を特別ゲストとして招聘し、現在の社会課題を解決するためのビジネスアイデアや国内外の起業の実例を紹介することで、地球規模の社会課題に取り組む視座と考え方も併せて学ぶ。

##### H コース 地域創生講座－農林水産業振興によるひと育て－

＜コーディネーター 国際食料情報学部長 教授 高柳長直＞

日本の農業人口の減少と高齢化、食料自給率低下の中で、国は農林水産業者の高齢化、後継者不足、低収益性等の課題の解決に向けて持続可能な地域創生の実現を目指す政策を策定し実行している。本講義では政府の専門家によりテーマ別に関連法案、政策や予算の背景、プロセスなどを重点にその策定経緯を学ぶ。

【「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を構成する科目と修了要件単位数】

分野		授業科目		単位数	修了必要単位数	
科目 総合教育	科目 全学共通	導入科目	コア科目	情報基礎(一)	2単位	2単位
		導入科目		情報基礎(二)	2単位	2単位
		課題別科目		特別講義 データサイエンス基礎 ※	2単位	2単位
科目 専門教育科目	科目 学科専門科目	専門基礎科目	関連科目	実験計画法	2単位	2単位以上
		専門基礎科目		生物統計学	2単位	
		自然関係科目		統計学	2単位	
		専門共通科目		統計基礎	2単位	
合計					8単位以上	

※情報基礎(一)と情報基礎(二)の単位を修得していなければ特別講義 データサイエンス基礎を履修できません。

【「特別講義 データサイエンス基礎」の履修登録について】

「特別講義 データサイエンス基礎」は全学部生を対象に開講します。  
 「情報基礎(一)」と「情報基礎(二)」の単位を修得していれば学年を問わず履修できます。  
 (注)ライブオンラインの授業では Web カメラ、イヤホン(ヘッドホン)、マイクが必要です。

【「特別講義 データサイエンス基礎」の特徴】

- ・授業内容は可能な限り農業に関する親しみやすい事例を取り入れることにより、解りやすい実習、ワークショップを通じて、AI時代における実学主義を涵養します。
- ・富士通株式会社との包括連携協定に基づく人材交流によって、実践的かつ本学の専門性に沿った講義を複数回設定し、データサイエンスの活用イメージが湧く授業内容を取り入れます。
- ・より多くの学生が受講できるよう、授業はオンライン(オンデマンド、ライブ)で行います。

「特別講義 データサイエンス基礎」の2024年度授業(概要)は <https://www.nodai.ac.jp/datascience/> の「7. 特別講義 データサイエンス基礎の授業内容」を参照してください。  
 授業詳細は <https://nodaiweb.university.jp/datascience/> を参照してください。

関連科目一覧

学科	区分	開講学年	科目名	学科	区分	開講学年	科目名
農学	選択	3	実験計画法	微生物	必修	1	生物統計学
動物	必修	2	生物統計学	森林	選必	2	統計学
デザイン	必修	2	実験計画法	工学	選必	2	統計学
化学	選必	1	統計学	造園	選必	2	統計学
醸造	選必	1	統計学	創成	選必	2	統計学
健康	選択	1	統計学	開発	選択	2	統計基礎
健康	選択	3	生物統計学	経済	選択	2	統計基礎
栄養	選必	1	統計学	ビジネス	選択	2	統計基礎
バイオ	必修	1	生物統計学	食農	選択	2	統計基礎
生化	必修	1	生物統計学				

(注1) 関連科目の開講の無い学科は他学部・他学科聴講で履修してください。

## 5 全学共通科目「日本語」の履修登録

この科目は、外国人留学生及び帰国生を対象として開講する授業科目です。**修得した単位は、卒業要件として他学科履修・他学部履修・英語による専門教育プログラムと合わせて30単位まで含めることができます。**

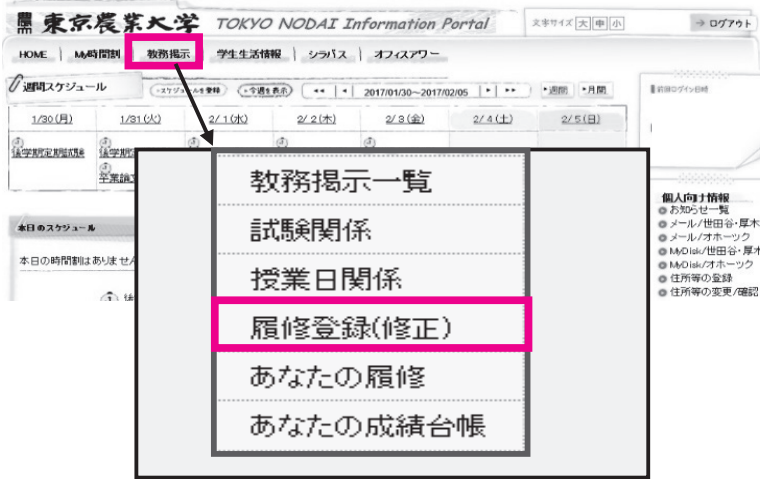
## 6 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録

※ 学務課窓口で確認してください。

## 7 履修登録の入力方法

履修登録は学生ポータル「履修登録(修正)」から行います。登録方法は以下のとおりです。

### (1) 「履修登録(修正)」



- ① 「教務掲示」を選択
- ② 「履修登録(修正)」を選択

#### 【注意】

住所確認(または変更)を行っていない学生は、Web履修システムを利用することができません。

### (2) 履修登録(修正)画面

履修登録(修正)

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2023年 前学期	2023年 後学期		未登録	登録済	変更不可
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
18時限		再履修 S7125 水理学 岡澤 幸他	再履修 S7131 水理学演習 岡澤 幸他		S7144 地域文化(工学) 渡辺 啓巳
28時限			S7150 環境演習(一) (広域環境) 奥田 淑彦他		
38時限	S7100 土と水の環境 岡澤 幸他			再履修 S7114 基礎力学 川名 太他	
48時限	再履修 S7101 材料力学 川名 太			再履修 S7115 基礎力学演習 川名 太他	S7124 情報処理工学 岡山 穂子他
58時限	他 S7406 財政学 米田 希隆	A S7023 科学の歴史(森林・工学) 松崎 寛			
68時限					
78時限					

	前学期	後学期		年間		累積	
		履修単位	他所属	履修単位	他所属	履修単位	他所属
上限	22	20	22	22	44	44	-
下限	-	-	-	-	-	-	-
上限	-	0	-	2	-	2	16
							2(0)

初期表示は該当年度・学期の登録画面であり、自動登録されている科目を表示しています。

#### A 他所属講義

他所属を表す画像[他]が表示されます。

#### B 再履修科目

再履修を表す画像[再履修]が表示されます。

#### C 履修単位

学期、年間、累積(他所属のみ)の履修単位数を確認できます。

- ・黒字: 学期、年間は制限単位数
- ・赤字: 履修中の単位数の合計
- ・累積: 今まで履修してきた単位数

+ 登録中の単位数の

合計を表示します。カッコ内には登録中の単位数のみ表示されます。



### (3) 科目の検索・登録方法

新しく履修登録を追加(履修を申請)する4つの方法について

#### a. [ ]からの登録

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録 登録済 変更不可			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201357の氏名(輪)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(輪)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 方】 201659の氏名(輪)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(輪)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(輪) 他		再履修 有科履修 S0519 英語(四) 201067の氏名(輪)		

①-1. 時間割表にある新規追加  
[ ]を押します。

開講科目選択

2016年 後学期 月曜日 2時限

開講科目を選択してください。

選択	開講番号	必修種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有科	情報
<input type="checkbox"/>	03154		TOEIC英語(二) 生 B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	須田 誠			
<input type="checkbox"/>	03232		TOEIC英語(二) ア B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	朝田 正可			
<input type="checkbox"/>	03331		TOEIC英語(二) 食 B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	間山 愛			
<input type="checkbox"/>	03471		TOEIC英語(二) 産 B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	南田 育江			
<input type="checkbox"/>	05392		TOEIC英語(二) ア B 現カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	宮坂 里奈			
<input type="checkbox"/>	S0640	必	英語(四)セ光"-旧2 A	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	橋本 悠太	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

閉じる 登録する

①-2. 開講科目選択画面が表示  
所属学部・学科科目と全学共通  
科目が表示されます。

表示されている開講科目から選択し  
[登録する]を押します。

#### b. [開講科目検索]からの登録

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録 登録済 変更不可			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201357の氏名(輪)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(輪)	

②-1. 開講科目を検索して登録します。  
[開講科目検索]を押します。

開講科目検索

2016年 後学期

開講科目の検索条件を入力してください。

検索条件 検索結果

曜日 [ ]

時限 [ ]

開講番号 [ ] (前方一致)

開講科目名 [ ] (部分一致)

分野系列 [ ]

担当教員 [ ] (部分一致)

閉じる 開講科目を検索する

②-2. 検索画面が表示されます。

**注意** 開講番号の左のアルファベット

4桁の数字の前に、  
必ず半角大文字でSまたはAを入力してください。

「S0000」 世田谷キャンパスの科目

「A0000」 厚木キャンパスの科目

c. [他所属講義選択]から登録

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 | **他所属講義選択** | 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録 登録済 変更不可			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
18時限	他 S6517 花卉栽培論 201357の氏名(輪)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 202503の氏名(輪)	

他所属講義選択

2016年 後学期

他所属講義を選択してください。

選択	開講番号	必要種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有科	情報
<input checked="" type="checkbox"/>	S6517		花卉栽培論 農学2	他学部履修	2	山之内 貞夫			他

閉じる

開講科目を追加する

**登録する**

③-1.他所属講義(他学部・他学科所属)を登録します。

[他所属講義選択] を選択します。

③-2.他所属講義選択画面に表示されている科目を選択し、[登録する]を押します。

※ 他所属講義科目を追加表示されている開講科目以外の開講科目を登録する場合は、[開講科目を追加する]を押すと登録できます。

d. [集中講義選択]からの登録

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 | 他所属講義選択 | 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録 登録済 変更不可			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
18時限	他 S6517 花卉栽培論 201357の氏名(輪)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 202503の氏名(輪)	

集中講義選択

2016年 後学期

集中講義を選択してください。

選択	開講番号	必要種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有科	情報
<input type="checkbox"/>	O1139		特別講義(一) 生 新カリ	【総合教育科目 全学共通】課題別科	2	高橋 幸助			集中
<input type="checkbox"/>	O1235		特別講義(一) ア 新カリ	【総合教育科目 全学共通】課題別科	2	長谷川 根			集中
<input type="checkbox"/>	O1336		特別講義(一) 食 新カリ	【総合教育科目 全学共通】課題別科	2	沖田 太郎			集中
<input type="checkbox"/>	O1448		特別講義(一) 産 新カリ	【総合教育科目 全学共通】課題別科	2	中山田 正人			集中
<input type="checkbox"/>	O1524		日本語(一) 新カリ	全学共通	2	小向 了二			集中

閉じる

登録する

④-1.集中講義を登録します。  
[集中講義選択]を選択します。

④-2.集中講義選択画面に表示されている科目から選択し  
[登録する] を押します。

#### (4) 科目の削除

2016年 前学期		2016年 後学期		未登録 登録済 変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201357の氏名(編)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(編)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 方】 201659の氏名(編)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(編)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(編) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201057の氏名(編)		

登録中の「登録科目名」を選択すると、削除画面へ遷移します。

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。

#### (5) 登録内容が反映された履修登録画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期		2016年 後学期		未登録 登録済 変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201357の氏名(編)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(編)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 方】 201659の氏名(編)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(編)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(編) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201057の氏名(編)		
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 202115の氏名(編)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後期中	S8093	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期		後学期		年間		累積	
上限	履修単位	22	5	22	11	44	16	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属:他大学 他学部 他学科

入力内容を確認する

前述(3)~(4)の手順を繰り返し、

科目を選択し終えたら、

[入力内容を確認する]を押します。

この時点では、まだ履修登録は完了していません！

(6) 履修登録内容確認画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

← 入力画面へ戻る

2016年 前学期 2016年 後学期 未登録 登録済 変更不可

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(職)	
2時限		S8179 生物物理化学(旧 カリ) 201659の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(職)		
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 20229の氏名(職)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8068	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

上限	履修単位	前学期		後学期		年間		累積	
		22	5	22	13	44	18	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

← 入力画面へ戻る

この内容を登録する

内容を確認のうえ、問題なければ  
[この内容を登録する]を押します。

(7) 履修登録完了画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

以下の内容を登録しました。 プレビューを確認して下さい

印刷する

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 203503の氏名(職)	
2時限		S8179 生物物理化学(旧 カリ) 201659の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 203503の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(職)		
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 20229の氏名(職)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8068	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

上限	履修単位	前学期		後学期		年間		累積	
		22	5	22	13	44	18	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

登録番号: 109

履修登録が完了すると画面右下に  
[登録番号]が表示されます。

右上の [印刷する] を押して必ず印刷  
または画面データを保管してください。  
(修正した場合も同様)  
問合せ時に、根拠資料として  
「登録番号」が必要です。

この時点で、履修登録が完了!!

## (8) 履修登録ができない場合



①「本人現住所の確認」等が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。履修登録を行うためには、「本人現住所の確認」等を行ってください。

②メニュー画面から「住所の変更/確認」を選択します。  
※サイドメニューから選択もできます。

## 8 履修確認について

(1) 履修確認日に学生ポータルで履修登録状況を確認してください。

(日程は9ページを参照)

(2) 履修登録内容に修正がある場合は、必ず履修修正期間に学生ポータルから修正してください。

### 履修登録内容の確認

- 登録した科目が正しく登録されていますか
- 科目名・担当教員名・クラスに間違いはありませんか
- 履修登録をしていない科目が表示されていませんか

★履修登録をしていない科目は、授業に出席しても単位は認定されません

(3) 履修確認日以降に、学生ポータルで履修登録状況を最終確認してください。(日程は9ページを参照)

## 9 WebClassの利用について

WebClassは、本学で導入しているPC・スマートフォンからアクセスできる学習管理システム(LMS)です。授業に関するお知らせ、教材の配信、テストの実施、レポート提出、出席管理等に利用します。学生ポータルと同じユーザーIDとパスワードを使用してログインできます。ログイン方法や資料の閲覧方法、出席管理については、以下に記載しています。その他の機能についてはマニュアルを参考にしてください。

※画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

### (1) ログイン画面



WebClassログインURL  
<https://lms.nodai.ac.jp/>

ユーザ ID とパスワードを入力して、  
[ログイン]ボタンをクリックします。

### (2) 資料の閲覧

ネットワークのクラス	ネットマスク	ネットワークアドレス
A	255.0.0.0	0.0.0.0 - 127.255.255.255
B	255.255.0.0	128.0.0.0 - 191.255.255.255
C	255.255.255.0	192.0.0.0 - 223.255.255.255

教員が授業で使用する資料を  
WebClass で見るができます。  
教員が WebClass にアップロードした配  
付物をダウンロードできます。

### (3) 出席の送信

教員が指定したパスワードを入力し、講義の出席を WebClass から送信できます。自分の出席状況も確認できます。

### (4) マニュアル

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限						
2限				*Japanese Language First Level		
3限		*ネットワーク講習会(2日) 聴取メッセージ(2) 今年初めてアカウントを取る人のための講座です。				
4限			*プログラミング入門			
5限						
6限						
7限						

授業によっては、その他の機能を使う可能性があります。マニュアルは、必要に応じて確認してください。

## 10 遠隔授業の受講方法

### (1) 遠隔授業とは

パソコンやタブレットを使い、インターネットを介すことで、講義を受ける形態のことです。学生ポータルを通じて配信される在宅学習用教材(オンデマンド型)の閲覧や、講義を録画した動画を閲覧することで学習し、指示された課題やレポートを提出し受講します。なお、できるだけ授業日に受講してください。

### (2) 受講方法・流れ

授業科目により実施方法が異なりますので、シラバス、講義連絡等による指示に従ってください。本学では、対面授業で実施している講義も遠隔授業を組み合わせ実施しています。授業担当者からの指示がありますので、注意するようにしてください。

#### ① 授業前日まで

シラバス	学生ポータル「シラバス」から該当科目を検索し、授業内容、実施方法、予習内容等を確認してください。
------	--

#### ② 授業30分前まで

講義連絡	学生ポータル「My時間割」から講義を選択すると確認できます。
------	--------------------------------

#### ③ 授業開始

実施方法	詳細
配信ツール	Zoomによる双方向リアルタイム通信 (授業時間はミーティングに参加)
教材	学生ポータル「在宅学習用教材フォルダ」からダウンロード
出席確認	WebClassまたは点呼

### (3) 受講する際の推奨機器、推奨スペック

#### ① 受講する際の推奨機器

「ノート型パソコン」または「タブレット(キーボード付)」をお勧めします。スマートフォンは、レポートの作成やオンラインでの小テスト受験等に適しておらず、パソコンやタブレットに比べて学習環境としては不十分です。また、キャンパス内では、Wi-Fi 環境が整備されていることから、持ち運び可能なノート型パソコンやタブレットであれば、通信量を気にせず、オンデマンド教材のダウンロード等が可能です。(学内のWi-Fi環境については、情報教育センターHPをご確認ください。)

#### ② 使用する機器の推奨スペック

遠隔授業を受講するための環境の推奨スペックは下記の通りとなります。新規に購入する場合や買い替えの際は参考にしてください。

- OS.....Windows10以上 64Bit ※1
  - CPU.....Intel ならCorei3 以上、AMD ならRyzen3 以上  
(※2 特定学部: Intel ならCorei5 以上、AMD ならRyzen5 以上)
  - メモリ.....8GB 以上(※2 特定学部: GPU 搭載またはGPU 非搭載の場合はメモリ16GB 以上)
  - ディスプレイ解像度...1360×768 以上(※2 特定学部: 1920×1080 以上)
  - 内蔵記憶.....250GB 以上(SSD 推奨)
  - Wi-Fi、カメラ、マイク及びスピーカー内蔵(外付可)
- ※1 Mac の利用も可能としますが、大学として一部サポートできないことがあります。
- ※2 特定学部: 地域環境科学部・国際食料情報学部  
大学がライセンス契約し無料で使用できるArcGIS、AutoCAD を個人のパソコン等にインストールする場合の推奨スペック(インストールは任意です)。
- なお、新たにパソコン等を購入される場合、Office365 ソフト(Word、Excel、PowerPoint、Access等)は、大学がライセンス契約しているため、無料で使用できます。同ソフトを購入する必要はありません。



## 11 教材フォルダの使い方

本学では、授業に必要な教材を学生ポータル「講義連絡」や「在宅学習用教材」(Microsoft OneDrive)から配信しています。ここでは「在宅学習用教材」のダウンロード方法について説明します。

### 【注意事項】

- ◇ 教材はMicrosoft officeを使用しています。必要な方は「新入生のための農大ネットワーク利用ガイド」を参照し、インストールしてください。
- ◇ 各自の農大のメールアドレス(〇〇〇〇@nodai.ac.jp)でアクセスしてください。
- ◇ パソコンまたはタブレットでの学習を推奨しています。
- ◇ 教材をオンライン上で閲覧するとうまく動作しない場合があります。必ず**ダウンロード**して学習してください。

The screenshot shows the Tokyo Nodai Information Portal interface. The main navigation bar includes 'HOME', 'My時間割', '教務表示', '学生生活情報', 'シラバス', 'オフィスアワー', '出席管理', and '授業評価アンケート'. The '週間スケジュール' (Weekly Schedule) section is active, displaying a calendar for March 2021. Below this, there are sections for '本日のスケジュール' (Today's Schedule), '全学共通のお知らせ' (University-wide notices), and '各キャンパスからのお知らせ' (Campus-specific notices). On the right side, there is a sidebar menu with various links. The '在宅学習用教材' (In-home Learning Materials) link is highlighted with a red box. Below it, a list of departments and materials is shown, including '3/18～後学期', '集中講義(延大)', '集中講義(世田谷)', '農学部', '理・数・学術情報課程', '応用生物科学部', '生命科学部', '地球環境科学部', '国際食料情報科学部', '農・数・学術情報課程', '世・全学共通科目', '農学実習科: Grad. Sch./Agr.', and '応生実習科: Grad. Sch./Agr.'. At the bottom of the sidebar, there are links for '遠隔授業に関するお知らせ' and 'Information in English'.

「在宅学習用教材」から該当科目の開講学部を選択してください。

## 12 Formsの使い方

Formsは、ブラウザを利用したMicrosoftのアプリケーションです。本学では各種アンケートや小テスト、試験等で使用します。アクセスに必要なURLは、主に学生ポータル「あなた宛のお知らせ」や「講義連絡」で周知します。

### (1) Formsへのアクセス(講義連絡の場合)

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート

教務情報(講義連絡情報)

← 一覧画面へ戻る

講義連絡対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
水6限 (18:00-19:30)	英語(四)		教室	後学期

講義連絡の詳細

メッセージ種別	講義連絡
送信者	
タイトル	
詳細	
URL	<a href="https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=U1P55PRH4OK_HSRHrSSIAeRC5fX_aJ1CbuoVLUHbJUNIVDU">https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=U1P55PRH4OK_HSRHrSSIAeRC5fX_aJ1CbuoVLUHbJUNIVDU</a>

教務情報

- 教務掲示一覧
- 授業日関係
- 履修関係
- 試験関係

履修成績

- 履修登録(修正)
- あなたの履修
- あなたの成績台帳

- ①「教務掲示」を選択
- ②「教務掲示一覧」をクリック

### (2) サインイン

Microsoft サインイン

「●●●●●●●●@nodai.ac.jp」を入力

電子メールアドレスまたは電話番号

次へ

東京農業大学 Web認証システム

利用者IDとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。

利用ID: [ ]

パスワード: [ ]

パスワードを入力

ログイン

- ①サインインを求める画面が表示されたら、各自の農大のメールアドレスを入力し、[次へ]を押してください。

- ②Web認証システム画面が表示された場合は、パスワードを入力し[ログイン]ボタンを押してください。

### (3) 解答方法

6月1日小テスト

6月1日の授業内容に関する小テストです。

kyoumu さん、このフォームを送信すると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが表示されます。

1. 東京農学校の設立は何年？ (2点)

1891年

1893年

1925年

送信

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。パスワードを記載しないでください。

Powered by Microsoft Forms | プライバシーと Cookie | 利用規約

- ③Formsにログインし、解答画面が表示されます。

※解答時間が設定されている場合は59秒までが解答時間となりますので、注意してください。

【例】9時までの場合、8時59分59秒まで

### 13 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは 授業科目に採番ルールに基づく番号を付し、学修内容の順次性や科目間の関連性を示すことで、教育課程（カリキュラム）の体系性を明確にするとともに、学生に目的意識及び計画性を持って学修させることを目的とします。

シラバスに科目ナンバリングを記載しています。

※科目ナンバリングの採番ルール等については学生ポータルのカabinetから確認できます。

### 14 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を学部・学科別に記載していますので、参考にしてください。

**【注意】** 履修モデルに記載されている科目のみで卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。当該学科の卒業要件単位(必修・選択必修・選択科目)、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得(受験資格を含む)することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、入学時に配付した「学生生活ハンドブック」を参照してください。

応用生物科学部 農芸化学科 履修モデル

コース	企業（製造・技術）	企業（営業職）	就農	自営業	公務員	教員	大学院
開講区分	概要	企業の技術職および製造に関わる職種への就職を目指す	化学の知識を活かし新しい多岐にわたる幅広い農業を展開することを目指す	幅広い科学の知識を身につけて独立した経営戦略を立てることを目指す	幅広い知識と一般常識を身につけて公務員を目指す	幅広い知識を得て教職に就くことを目指す	高度な専門知識と判断力を有する人材を育成することを旨とする
	総合教育科目	スポーツ・関係科目	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一）
外国語科目	課題別科目	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）
	就職準備科目	インターンシップ	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	キャリアデザイン
学術基礎科目	実用英語科目	TOEIC英語（一） TOEIC英語（二） 英会話（一） 英会話（二） ビジネス英語	TOEIC英語（一） TOEIC英語（二） 英会話（一） 英会話（二） ビジネス英語	TOEIC英語（一） TOEIC英語（二） 英会話（一） 英会話（二） ビジネス英語	TOEIC英語（一） TOEIC英語（二） 英会話（一） 英会話（二） 科学英語	TOEIC英語（一） TOEIC英語（二） 英会話（一） 英会話（二） 科学英語	TOEIC英語（一） TOEIC英語（二） 英会話（一） 英会話（二） 科学英語
	初修外国語科目	中国語（一） 中国語（二）					
専門教育科目	人間関係科目	農と科学の歴史	農と科学の歴史	農と科学の歴史	心の構造	心の構造	科学と哲学
	社会関係科目	経済入門 現代の環境問題	経済入門 現代の環境問題	経済入門 法と社会	日本国憲法 現代の環境問題	日本国憲法 現代の環境問題	経済入門 現代の環境問題
学術専門科目	自然関係科目	化学 物理学 統計学	化学 地学 統計学	化学 統計学	化学 物理学 統計学	化学 物理学 地学	化学 物理学 統計学
	専門共通科目	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学
学術領域科目	創成型科目	食育コース	食育コース	食育コース	食育コース	食育コース	食育コース
	専門コア科目	食品化学（二） 工場管理論 分子遺伝学 生体高分子化学 共生微生物学 ポストハーベスト学	食品化学（二） マーケティング学 土壌微生物学 作物学 植物病理学 ポストハーベスト学	食品化学（二） マーケティング学 機能性分子作用学 ポストハーベスト学	食品化学（二） マーケティング学 共生微生物学 作物学 植物病理学 機能性分子作用学	食品化学（二） マーケティング学 分子遺伝学 機能性分子作用学 有機合成化学 作物学	食品化学（二） 工場管理論 土壌微生物学 バイオインフォマティクス 有機合成化学 作物学 植物病理学
総合化科目	学際領域科目	知的財産概論 機器分析学概論 科学メディア論	起業論 知的財産概論 起業論	起業論 知的財産概論	科学メディア論 知的財産概論 機器分析学概論	科学メディア論 機器分析学概論	知的財産概論 機器分析学概論 科学メディア論
	総合化科目	実験計画法 論文基礎英語	実験計画法 論文基礎英語	実験計画法 論文基礎英語	実験計画法 論文基礎英語	実験計画法 論文基礎英語	農芸化学特論 実験計画法 論文基礎英語

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 醸造科学科 履修モデル

コース		製造技術職	営業職	自営業	教員・公務員	進学・研究職
開講区分	総合教育科目	概要	飲食品産業等で営業活動に携わる者	醸造業あるいは食品製造の経営に携わる者	教職員や県、市町村の職員を目指す者	大学院への進学または企業で研究職を目指す者
	全学共通科目	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)
外国語科目	課題別科目		インターナショナル・スタディーズ(一)			
	就職準備科目	キャリアデザイン ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー
外国語科目	実用英語科目	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 科学英語	TOEIC英語(一) 英会話(一) ビジネス英語	TOEIC英語(一) 英会話(一) ビジネス英語	英語リーディング(一) 英語リーディング(二)	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 科学英語
	初修外国語科目					
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	農と科学の歴史	農と科学の歴史	心の構造	科学と哲学
	社会関係科目 (2科目)	法と社会 現代の環境問題	法と社会 経済入門	法と社会 経済入門	日本国憲法 法と社会	法と社会 現代の環境問題
学科学科	自然関係科目	物理学	統計学	統計学	物理学	統計学
	専門共通科目	生命科学	環境科学	環境科学	生命科学	生命科学
学科学科	創成型科目					
	専門基礎科目					
学科学科	専門コア科目	食品加工学 味噌醸造学 醤油醸造学 醸造酒学	食品加工学 味噌醸造学 醤油醸造学 蒸留酒学	食品加工学 味噌醸造学 醤油醸造学 蒸留酒学	分子生物学実験 食品機能学 食品加工学 醸造酒学	分子生物学実験 食品機能学 食品加工学 醸造酒学
	学際領域科目	バイオプロセス工学概論 食品工学概論 知的財産概論 機器分析学概論 環境管理論	バイオプロセス工学概論 起業論 知的財産概論 生産経営概論	バイオプロセス工学概論 知的財産概論 生産経営概論 起業論 環境管理論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 生物工学概論 飲酒生理学	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 生物工学概論 応用酵素学 バイオインフォマティクス
総合化科目	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 食品安全健康学科 履修モデル

コース		企業（製造技術職）	企業（研究開発職）	公務員	教員	大学院進学
開講区分	概要	企業で安全管理が求められる技術職に就くことを目指す	企業で商品開発に関わる研究職に就くことを目指す	公務員試験に合格し、行政の立場から食に関わることを目指す	幅広い知識を得て教育職に就くことを目指す	大学院博士前期課程および後期課程への進学を目指す
	全学共通科目	スポーツ関連科目	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一)
総合教育科目	課題別科目					
	就職準備科目	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	キャリアデザイン
外国語科目	実用英語科目	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) ビジネス英語	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) ビジネス英語	英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	英会話(一) 英会話(二) TOEIC英語(一) TOEIC英語(二)	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 英語リーディング(一) 英語リーディング(二)
	初修外国語科目					
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造
	社会関係科目	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題
自然関係科目						
	専門共通科目	生命科学	生命科学	生命科学	生命科学	生命科学
学科学専門科目	創生型科目					
	専門基礎科目	科学英語演習	科学英語演習	科学英語演習	科学英語演習	科学英語演習
専門コア科目	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験)	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験)	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験)	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験)	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験)	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験)
	病理学	病理学	病理学	病理学	病理学	病理学
学際領域科目	リスクマネジメント	リスクマネジメント	リスクマネジメント	リスクマネジメント	リスクマネジメント	リスクマネジメント
	インタナショナルフォワードアセスメント	インタナショナルフォワードアセスメント	インタナショナルフォワードアセスメント	インタナショナルフォワードアセスメント	インタナショナルフォワードアセスメント	インタナショナルフォワードアセスメント
学際領域科目	生物統計学	生物統計学	生物統計学	生物統計学	生物統計学	生物統計学
	感性科学	感性科学	感性科学	感性科学	感性科学	感性科学
学際領域科目	事業所実習	事業所実習	事業所実習	事業所実習	事業所実習	事業所実習
	バイオインフォマティクス演習	バイオインフォマティクス演習	バイオインフォマティクス演習	バイオインフォマティクス演習	バイオインフォマティクス演習	バイオインフォマティクス演習
学際領域科目	起業論	知的財産概論	知的財産概論	知的財産概論	知的財産概論	知的財産概論
	知的財産概論	知的財産概論	知的財産概論	知的財産概論	知的財産概論	知的財産概論
学際領域科目	生産経営概論	生産経営概論	生産経営概論	生産経営概論	生産経営概論	生産経営概論
	科学的メディア論	科学的メディア論	科学的メディア論	科学的メディア論	科学的メディア論	科学的メディア論

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 栄養科学科 履修モデル

コース		管理栄養士						
開講区分	概要	病院・保健所・学校・福祉施設等	企業	公務員	大学院進学	栄養教諭	理科教諭	
総合教育科目	学術共通科目	病歴や行政などで管理栄養士として働くことを目指す	企業で商品開発・技術職に就くことを目指す	公務員試験に合格し、行政の立場から食に関わることを目指す(各省市、地方公務員、食品衛生監視員等)	大学院博士前期課程および後期課程への進学を目指す	小学校・中学校・高校にて栄養教諭に就くことを目指す	中学校・高校にて理科教諭に就くことを目指す	
	スポーツ関係科目	ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(一)			ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(一)	ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(一)	ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(一)	
	課題別科目	ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(二)			ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(二)	ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(二)	ｽﾎﾟｰﾂ関係科目(二)	
	就職準備科目							
外国語科目	学術共通科目	英会話(一)	ビジネス英語	英会話(一)	科学英語			
		英会話(二)		英会話(二)				
	初修外国語科目							
専門教育科目	学術基礎科目	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造	
	社会関係科目	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題	
	自然関係科目	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学 物理学 地学	
学術専門科目	専門共通科目	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	
	創成型科目	食育コース		食育コース		食育コース		
	専門基礎科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	
	専門コア科目	薬理学 ｽﾎﾟｰﾂ栄養学 医療フードコーディネーター演習 栄養疫学	分子栄養学 食品開発論 栄養疫学	分子栄養学 食品開発論 栄養疫学	分子栄養学 食品開発論 栄養疫学	分子栄養学 食品開発論 栄養疫学	スポーツ栄養学	
	学際領域科目	起業論 知的財産概論 機器分析学概論	知的財産概論 食品工学概論 生物工学概論 機器分析学概論	食品工学概論 生物工学概論 機器分析学概論	食品工学概論 生物工学概論 機器分析学概論	食品工学概論 生物工学概論 機器分析学概論	生物工学概論 機器分析学概論	
	総合化科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

生命科学部 バイオサイエンス学科 履修モデル

コース		食品産業分野	医療関連分野	化学工業分野	公務員	教員	大学院 (細胞機能分野)	大学院 (植物分野)	大学院 (動物分野)
開講区分	概要	食品の安全性を旨とした商品・技術開発の育成 人材の育成	人間の健康に不可欠な医薬品の技術開発や提供ができる人材の育成	化学物質や生物資源等の材料特性を理解し、これらへの合成や加工技術の開発に取組める人材の育成	国および地方自治体が抱える食料・健康・環境問題を解決出来る人材の育成	急速に発展する生命工学を正しく理解し、次世代を担う中高生に的確に教授出来る人材の育成	大学院における高度な教育・研究ならびに企業における研究に育成	大学院 (植物分野)	大学院 (動物分野)
	総合教育科目	スポーツ関係科目 課題別科目 就職準備科目	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二) 特別講義 (一)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二) 特別講義 (一)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二) 特別講義 (一)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二) 特別講義 (一)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二) 特別講義 (一)		
外国語科目	学術共通科目	ビジネスマナー キャリアデザイン	ビジネスマナー キャリアデザイン	ビジネスマナー キャリアデザイン	ビジネスマナー キャリアデザイン	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) ビジネス英語	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) 英会話 (一) 英会話 (二)	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) 英会話 (一) 英会話 (二)	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) 英会話 (一) 英会話 (二)
	学術共通科目	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) ビジネス英語	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) 英会話 (一) ビジネス英語	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) ビジネス英語	TOEIC英語 (一) 英会話 (一) 英会話 (二)	TOEIC英語 (一) 英会話 (一) 英会話 (二)	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) 英会話 (一) 英会話 (二)	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) 英会話 (一) 英会話 (二)	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) 英会話 (一) 英会話 (二)
専門教育科目	初修外国語科目								
	人間関係科目	経済入門	科学と哲学	経済入門	経済入門 日本国憲法	経済入門 日本国憲法	経済入門 日本国憲法	科学と哲学	科学と哲学
学科基礎科目	自然関係科目								
	創生型科目	起業論							
専門基礎科目	専門基礎科目								
	コア科目	植物細胞工学 植物分子育種学 分子遺伝学 動物発生学 生物制御学 食品製造学 食品加工実習	ゲノム生物学 分子遺伝学 動物発生学 生物制御学 実験動物学 免疫学	植物分子育種学 分子遺伝学 ゲノム生物学 生物制御学 食品加工実習	植物分子育種学 動物発生学 ゲノム生物学 生物制御学 食品製造学	植物細胞工学 植物分子育種学 ゲノム生物学 分子遺伝学 動物発生学 実験動物学 生命科学技術論	植物細胞工学 植物分子育種学 分子遺伝学 ゲノム生物学 生物制御学 生命科学技術論 アイントープ利用論 先端生命科学概論 生命科学技術論	植物細胞工学 植物分子育種学 ゲノム生物学 生物制御学 生命科学技術論 先端生命科学概論 生命科学技術論	分子遺伝学 動物発生学 ゲノム生物学 生命情報科学 実験動物学 先端生命科学概論 生命科学技術論
学際領域科目	バイオプロセス工学概論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 知的財産概論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 知的財産概論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 知的財産概論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 進化論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 進化論	機器分析学概論 進化論	機器分析学概論 進化論	機器分析学概論

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。



生命科学部 分子生命化学科 履修モデル

コース		研究職・大学院(化学系)	研究職・大学院(生物工学系)	一般企業総合、技術職	農業従事、公務員
開講区分	概要	研究職を志望し、大学院への進学を目指す学生のうち、化学工学系の分野を特に指向するもの	研究職を志望し、大学院への進学を目指す学生のうち、生物工学系の分野を特に指向するもの	一般企業の総合、技術職での就職を目指すもの	国および地方自治体への就職または農業への就職を目指すもの
	全学共通科目	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)
総合教育科目	課題別科目			インターナショナル・スタディーズ(一) インターナショナル・スタディーズ(二)	特別講義(一) 特別講義(二)
	就職準備科目			ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ
外国語科目	実用英語科目			ビジネス英語	英会話(一)
	学部共通科目	ドイツ語(一) ドイツ語(二)	ドイツ語(一) ドイツ語(二)	中国語(一)	
専門教育科目	人間関係科目				科学と哲学
	社会関係科目	日本国憲法	日本国憲法	経済入門	日本国憲法
学科基礎科目	自然関係科目				地学
	創生型科目				
学科専門科目	専門コア科目	生物機能分子設計学 機器分析学 生化学 天然物合成化学 微生物利用学 化学生態学 機能性物質論	生物機能分子設計学 機器分析学 生物無機化学(二) 生化学 微生物利用学 化学生態学 機能性物質論	生化学 機器分析学 天然物合成化学 微生物利用学 機能性物質論	生化学 生物無機化学(二) 化学生態学
	学際領域科目	危険物取扱法 化学工学	ケミカルバイオロジー 化学工学	危険物取扱法 企業論	ケミカルバイオロジー 企業論

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

生命科学部 分子微生物学科 履修モデル

コース		食品製造分野	品質管理分野	製薬分野	環境検査分野	大学院
開講区分	概要	食品の生産や安全管理における微生物の影響を理解し商品開発、衛生管理のできる人材の育成	食品や医薬品の製造・保存に必要な微生物学の知識習得、および品質管理をすす上で必要な機器類の知識をもつ人材の育成	人間の健康と医療問題に重要な微生物学の知識習得、および医療や創薬に関する知識を持つ人材の育成	環境問題やエネルギー産業の分野で活躍する微生物の知識、並びにビジネスの創成やコミュニケーション能力をもつ人材の育成	大学院における先端科学技術を利用した研究の理解、および将来の的確な進路目標の設定が出来る人材の育成
	総合教育科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)
外国語科目	課題別科目	インターナショナル・スタディーズ (一) 特別講義 (一) インターナショナル・スタディーズ (二)	特別講義 (一)	特別講義 (一)	特別講義 (一)	インターナショナル・スタディーズ (一) 特別講義 (一)
	就職準備科目	キャリアデザイン インターンシップ	キャリアデザイン インターンシップ	キャリアデザイン インターンシップ	キャリアデザイン インターンシップ	キャリアデザイン インターンシップ
専門教育科目	学術共通科目	TOEIC英語 (一) 英会話 (一) 英会話 (二) TOEIC英語 (二)	TOEIC英語 (一) 英会話 (一) 英会話 (二) TOEIC英語 (二)	TOEIC英語 (一) 英会話 (一) 英会話 (二) TOEIC英語 (二)	TOEIC英語 (一) 英会話 (一) 英会話 (二) TOEIC英語 (二)	TOEIC英語 (一) 英会話 (一) 英会話 (二) TOEIC英語 (二)
	学術基礎科目	初修外国語科目 人間関係科目 社会関係科目 自然関係科目	中国語 (一)/スペイン語 (一)のいずれか一科目 日本国憲法 物理学	中国語 (一)/スペイン語 (一)のいずれか一科目 日本国憲法 経済入門 物理学	中国語 (一)/スペイン語 (一)のいずれか一科目 日本国憲法 経済入門 物理学	中国語 (一)/スペイン語 (一)のいずれか一科目 日本国憲法 経済入門 物理学
学科専門科目	創生型科目	起業論	起業論	起業論	起業論	起業論
	専門基礎科目	数学 機器分析学	数学 機器分析学	数学 機器分析学	数学 機器分析学	数学 機器分析学
学科専門科目	専門コア科目	先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論	実験データ解析概論 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論	実験データ解析概論 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論	実験データ解析概論 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論	実験データ解析概論 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論
	学際領域科目	科学メディア論 知的財産概論	アイントロップ利用論 科学メディア論 知的財産概論	アイントロップ利用論 科学メディア論 知的財産概論	アイントロップ利用論 科学メディア論 知的財産概論	アイントロップ利用論

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

地域環境科学部 森林総合科学科 履修モデル

開講区分	コース	民間				教職					
		概要	環境保全関連授業	森林資源生産関連授業	木材・住宅関連授業	情報・流通関連授業	公務員・団体等 専門・技術職	大学院進学	農業（高校）	理科（中高）	技術（中学）
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目						スポート・レクリエーション(一)	スポート・レクリエーション(一)	スポート・レクリエーション(一)	スポート・レクリエーション(一)
	就職準備科目	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	スポート・レクリエーション(二)	スポート・レクリエーション(二)	スポート・レクリエーション(二)	スポート・レクリエーション(二)
外国語科目	学部共通科目	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語	英語リーディング				
専門教育科目	学科基礎科目	技術者倫理 文学概論	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 哲学	技術者倫理 哲学	技術者倫理	TOEIC英語初級 TOEIC英語中級 科学英語			
	社会関係科目	地域と文化 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題	日本国憲法 地域と文化 国際関係と社会問題	現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	日本国憲法	日本国憲法	日本国憲法
学科専門科目	自然関係科目	生物学 地学 統計学	生物学 地学 統計学	生物学 地学 統計学	生物学 地学 統計学	生物学 地学 統計学	生物学 化学 物理学 地学 統計学	生物学 化学 物理学 地学 統計学	生物学 化学 物理学 地学	生物学 化学 物理学 地学	
	専門コア科目	森林地形地質学 森林環境学 植生学 緑化工学 樹木生理学 森林立地学 外書講読 実験・調査計画法	樹木生理学 森林立地学 森林機械学 森林計画学 森林情報学 森林情報演習 野生生物管理学 林木育種学 造林樹木学 森林昆虫学 森林土木学 森林土木実習	樹木生理学 森林立地学 森林機械学 森林計画学 森林情報学 森林情報演習 野生生物管理学 林木育種学 造林樹木学 森林昆虫学 森林土木学 森林土木実習	木材組織学 木材物理学 木材化学 木材保存化学 きのこ学 木質構造学 木材劣化生物学 木質材料学 建築設計製図法	森林文化論 森林計画学 森林環境経済学 森林情報学 森林情報演習 野生生物管理学 きのこ学 森林教育学 測樹学 山村コミュニケーション論	木材組織学 木材物理学 木材化学 木材保存化学 きのこ学 木質構造学 木材劣化生物学 木質材料学 建築設計製図法	森林立地学 森林機械学 森林計画学 治山工学 樹病学 森林土木学 森林土木実習 測樹学	森林立地学 森林機械学 森林計画学 治山工学 樹病学 森林土木学 森林土木実習 測樹学	緑化工学 木材組織学 木材保存化学 森林作業システム学 木質構造学 木質材料学 建築設計製図法	木材加工 金属加工 機械 電気 栽培
専門実用科目											
学際領域科目											木質バイオマス利用学

注1) 上記の履修モデルには、必修科目は含まれていません。

注2) 卒業要件単位数を満たすには、上記の履修モデル以外にも、必修・選択必修・選択科目を別途履修する必要があります。



地域環境科学部 造園科学科 履修モデル

コース	[生活科学(基礎造園)モデル]	[コンサルタント・設計系モデル]	[造園施設系モデル]	[植物生産・園芸花卉・農業モデル]	[公務員系モデル]	[教員系モデル]	[海外の造園学習志望モデル]	
総合教育科目	学生生活をより充実させるために学習内容の選択に重点をおき、造園学の基本を学ぶ	就職(進学)も考慮し、特にコンサルタント・設計系を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に造園施工系を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に植物生産・園芸花卉・農業を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に公務員系を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に教職(理科・農業)を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に海外の造園学をさらに学習するためのモデル	
開講区分	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	
開講科目	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二) 特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	
職業準備科目	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ	キャリアデザイン インターンシップ	
外国語科目	実用英語科目	英語リーディング TOEIC英語(初級) TOEIC英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC英語(初級) TOEIC英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC英語(初級) TOEIC英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC英語(初級) TOEIC英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC英語(初級) TOEIC英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC英語(初級) TOEIC英語(中級) 科学英語	
専門教育科目	人間関係科目	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	
学際領域科目	現代社会と経済 地域と文化	現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	現代社会と経済 地域と文化	現代社会と経済 地域と文化	現代社会と経済 地域と文化	現代社会と経済 地域と文化	現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	
学術基礎科目	地球環境と産業循環 環境学習と体験活動 源流化学	地球環境と産業循環 環境学習と体験活動	地球環境と産業循環 環境学習と体験活動	地球環境と産業循環 環境学習と体験活動	地球環境と産業循環 環境学習と体験活動	地球環境と産業循環 環境学習と体験活動	地球環境と産業循環	
専門基礎科目	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論	
専門コア科目	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 造園施設設計 ランドスケープデザイン論 自然保護論 公園マナー・ジェネレーション論	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 造園施設設計 ランドスケープデザイン論 自然保護論 公園マナー・ジェネレーション論	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 造園施設設計 ランドスケープデザイン論 自然保護論 公園マナー・ジェネレーション論	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 造園施設設計 観光計画論 都市および農村計画	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 造園施設設計 ランドスケープデザイン論 自然保護論 公園マナー・ジェネレーション論 観光計画論 都市および農村計画	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 造園施設設計 ランドスケープデザイン論 自然保護論 公園マナー・ジェネレーション論 都市および農村計画	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 景観論 自然保護論 公園マナー・ジェネレーション論 都市および農村計画	樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基礎論 景観論 自然保護論 公園マナー・ジェネレーション論 都市および農村計画
学際領域科目	都市緑化 自然再生 専門特化演習(一) エンジニアリング	都市緑化 自然再生 専門特化演習(一) エンジニアリング	都市緑化 自然再生 専門特化演習(一) エンジニアリング	都市緑化 自然再生 専門特化演習(一) エンジニアリング	都市緑化 自然再生 専門特化演習(一) エンジニアリング	都市緑化 自然再生 専門特化演習(一) エンジニアリング	都市緑化 自然再生 専門特化演習(一) エンジニアリング	
学際領域科目	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	
学際領域科目	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	環境デザイン 環境デザイン 環境デザイン	

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含んでいる。

その他 リメディア

\*科目選択

\*\*1ヶ国語選択

地域環境科学部 地域創成科学科 履修モデル

コース		大学院進学	公務員(一般)	公務員(技術系)	建設業	環境コンサル	農林・緑化	観光・レク	環境関連NGO・NPO
開講区分	概要	本コースは大学院進学を目指す学生に動けるコースである。	本コースは非技術系(行政職等)の公務員を目指す学生に動けるコースである。	本コースは技術系(土木職等)の公務員を目指す学生に動けるコースである。	本コースは建設系企業(建設会社・建設コンサルタンタ等)への就職を目指す学生に動けるコースである。	本コースは、環境係室に關するコンサルティングを行う団体・企業への就職を目指す学生に動けるコースである。	本コースは農林・緑化事業に係わる団体・企業への就職を目指す学生に動けるコースである。	本コースは観光・レクリエーション業への就職を目指す学生に動けるコースである。	本コースは環境関連NGOやNPOへの就職を目指す学生に動けるコースである。
	総合教育科目	スポーツ・レクリエーション(一)						スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一)
	全学共通科目								
	課題別科目								
	就職準備科目		インターンシップ	インターンシップ	ビジネスマナー	インターンシップ	インターンシップ	ビジネスマナー	
外国語科目	学術共通科目	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語	TOEIC英語初級 TOEIC英語中級	TOEIC英語初級 TOEIC英語中級
専門教育科目	学術基礎科目	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学英語
	初修外国語科目								
	社会関係科目	地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題	日本国憲法 現代社会と経済 国際関係と社会問題	日本国憲法 現代社会と経済 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題 現代社会と経済	地域と文化 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題	日本国憲法 地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題	地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題
	自然関係科目	地学 統計学	地学 物理学 統計学	地学 物理学 統計学	地学 物理学 統計学	生物学 化学 統計学	生物学 化学 統計学	地学 統計学	地学 統計学
	専門共通科目								
	創成型科目								
	専門基礎科目	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理		
	専門コア科目	群集生態学 植栽技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理 環境修復論 農地保全学 文化産業・観光計画学 農と健康	樹木医学概論 植栽技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理 環境修復論 農地保全学 河川水文学 文化産業・観光計画学 農と健康	樹木医学概論 植栽技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理 環境修復論 農地保全学 河川水文学 文化産業・観光計画学 農と健康	樹木医学概論 植栽技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理 環境修復論 農地保全学 河川水文学 文化産業・観光計画学	樹木医学概論 群集生態学 植栽技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理 土壌肥科学 環境修復論 農地保全学 河川水文学 農と伝統文化	農域植生学 地域環境政策学 農地保全学 文化産業・観光計画学 農と伝統文化 農と健康	農域植生学 地域環境政策学 農地保全学 文化産業・観光計画学 農と伝統文化 農と健康	群集生態学 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理 環境修復論 農地保全学 文化産業・観光計画学 農と健康
	総合化科目	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学		文化産業・観光計画学
	総合化科目	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学	文化産業・観光計画学		文化産業・観光計画学

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

国際食料情報学部 国際農業開発学科 履修モデル

コース		概要	民間農業関連産業	農業経営者	公務員	教員		進学
開講区分	総合教育科目	概要	ODA、NGOなど 国際協力機関	農業従事者の育成(国内 外新規就農者、農業後継 者)	国家公務員、地方公務員	農業	中・高、高校教員(理科・農業)の育成	大学院への進学
			国際協力に携わる人材の 育成(ODA、NGO、国際機 関など)	食品・農業・環境関連産 業に携わる人材の育成 (食品系、農業系、環境 系の民間会社)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	
総合教育科目	スポーツ関係科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)	スポーツ・レクリエーション(一) 特別講義(一)～(四)
外国語科目	課題別科目	課題別科目	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)
	就職準備科目	就職準備科目	全科目	全科目	全科目	全科目	全科目	全科目
	実用英語科目	実用英語科目	初修外国語関係の中から3科 目	10E[英語(一)(二)+2科目]	10E[英語(一)(二)+2科目]	10E[英語(一)(二)+2科目]	10E[英語(一)(二)+2科目]	10E[英語(一)(二)+2科目]
	初修外国語科目	初修外国語科目	スペイン語(一)～(四) / フランス語(一)～(四) / 中国語(一)～(四)のい ずれか1科目	スペイン語(一)～(四) / フランス語(一)～(四) / 中国語(一)～(四)のい ずれか1科目	スペイン語(一)～(四) / フランス語(一)～(四) / 中国語(一)～(四)のい ずれか1科目	スペイン語(一)～(四) / フランス語(一)～(四) / 中国語(一)～(四)のい ずれか1科目	スペイン語(一)～(四) / フランス語(一)～(四) / 中国語(一)～(四)のい ずれか1科目	スペイン語(一)～(四) / フランス語(一)～(四) / 中国語(一)～(四)のい ずれか1科目
専門教育科目	人間関係科目	人間関係科目	環境倫理 文化人類学	環境倫理 日本史	環境倫理 文化人類学	環境倫理 文化人類学	環境倫理 文化人類学	環境倫理 日本史
	社会関係科目	社会関係科目	法学入門 政治のしくみ	法学入門 地理学	法学入門 地理学	法学入門 地理学	法学入門 地理学	地理学 政治のしくみ
	自然関係科目	自然関係科目	生物学 化学	生物学 数学	生物学 地理学	生物学 地理学	生物学 地理学	生物学 化学
	専門共通科目	専門共通科目	栽培学入門 畜産学入門 経営学入門	栽培学入門 経済学入門 畜産学入門 経営学入門	栽培学入門 畜産学入門 経営学入門	栽培学入門 畜産学入門 経営学入門	栽培学入門 畜産学入門 経営学入門	統計基礎 栽培学入門 統計基礎 経営学入門
	創生型科目	創生型科目	熱帯食用作物学	熱帯食用作物学	熱帯食用作物学	熱帯食用作物学	熱帯食用作物学	熱帯食用作物学
	専門コア科目	専門コア科目	熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物育種学	熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物育種学	熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物育種学	熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物育種学	熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物育種学	熱帯野菜学 熱帯果樹学
	学科学専門科目	学科学専門科目	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学
	総合化科目	総合化科目	国際農業経済論 比較農業論 国際農業協力論 農業普及論	国際農業経済論 比較農業論 農業普及論	国際農業経済論 比較農業論 農業普及論	国際農業経済論 比較農業論 農業普及論	国際農業経済論 比較農業論 農業普及論	国際農業経済論 比較農業論 農業普及論
			ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー フィールド調査	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー フィールド調査	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー フィールド調査	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー フィールド調査	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー フィールド調査	農業専門実験 農村開発協力論セミナー フィールド調査

国際食料情報学部 食料環境経済学科 履修モデル

コース		民間企業等		公務員・団体等		教員		進学	
開講区分	総合教育科目	概要	農業法人、食品加工業、小売業、流通業、外食などの分野に従事することを希望する学生、または、企業の環境対応に携わりたいことを希望する学生を対象。	国家公務員および地方公務員、JA、NPOにおいて農業振興、地域活性化、環境保全、食育に携わりたいことを希望する学生を対象。	農業・公民・地域の人材の育成を職業として希望する学生を対象。	大学院進学を希望する学生を対象。			
		スポーツ関係科目							
外国語科目	学部共通科目	課題別科目							
		就職準備科目	ビジネスマナー など	ビジネスマナー など	キャリアデザイン など	キャリアデザイン など	キャリアデザイン など		
専門教育科目	学科基礎科目	実用英語科目	TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) ビジネス英語 など	英語リーディング (一) 英語リーディング (二) TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) など	英語リーディング (一) 英語リーディング (二) など	英語リーディング (一) 英語リーディング (二) TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) など	英語リーディング (一) 英語リーディング (二) TOEIC英語 (一) TOEIC英語 (二) など		
		初修外国語科目	中国語 (一) 中国語 (二) など						
自然関係科目	専門共通科目	人間関係科目	環境倫理 日本史など	環境倫理 日本史 など	哲学 日本史 環境倫理 など	哲学 日本史 環境倫理 など	哲学 日本史 環境倫理 など		
		社会関係科目	法学入門 地理学 など	法学入門 地理学 日本国憲法 など	法学入門 地理学 日本国憲法 など	法学入門 地理学 日本国憲法 法学入門 地理学 など	法学入門 地理学 など	法学入門 地理学 など	
創成型科目	専門基礎科目	自然関係科目	数学	数学	数学	数学	数学		
		専門基礎科目	経営学入門 経済学入門 など	地域再生・活性化 など	地域再生・活性化 など	経済学入門 統計基礎 など	経済学入門 統計基礎 など	経済学入門 統計基礎 など	
専門コア科目	専門基礎科目	創成型科目	食品マーケティング論 食品産業論 農業経営学 国際フードシステム論 食料政策論 農業貿易論 食品マーケティング戦略論 など	農業経営学 農業政策論 環境政策論 環境社会学 公共経済学 食料政策論 地域計画論 など	国際農業経済論 農業経営学 農業政策論 資源社会学 都市経済学 国際フードシステム論 地域計画論 など	食品マーケティング論 国際農業経済論 農業経営学 農業政策論 環境社会学 都市経済学 公共経済学 など	食品マーケティング論 国際農業経済論 農業経営学 農業政策論 環境社会学 都市経済学 公共経済学 など		
		専門コア科目	経済地理学 グローバル経済論 企業と会計 社会調査 新エネルギー論 農産物市場論 食品関係法 など	行政学 農村社会学 財政学 社会調査 新エネルギー論 環境経済評価 協同組合論 など	環境経済史 農業史 アメリカ・EU農業経済論 農村社会学 新エネルギー論 環境経済評価 アジア農業経済論 など	環境経済学 (二) 農業史 農村社会学 経済経営のための数学 社会調査 計量経済学 経済統計論 など	環境経済学 (二) 農業史 農村社会学 経済経営のための数学 社会調査 計量経済学 経済統計論 など		

注1) 上記の履修モデルには、総合教育科目における導入科目、課題別科目、スポーツ関係科目、演習科目、リメディアル教育科目は含まれていません。  
 注2) 卒業要件単位数を満たすには、上記の履修モデル以外にも必修・選択必修・選択科目を履修する必要があります。  
 注3) 教員については、所定の教職科目を履修する必要があります。





国際食料情報学部 国際食農科学科 履修モデル

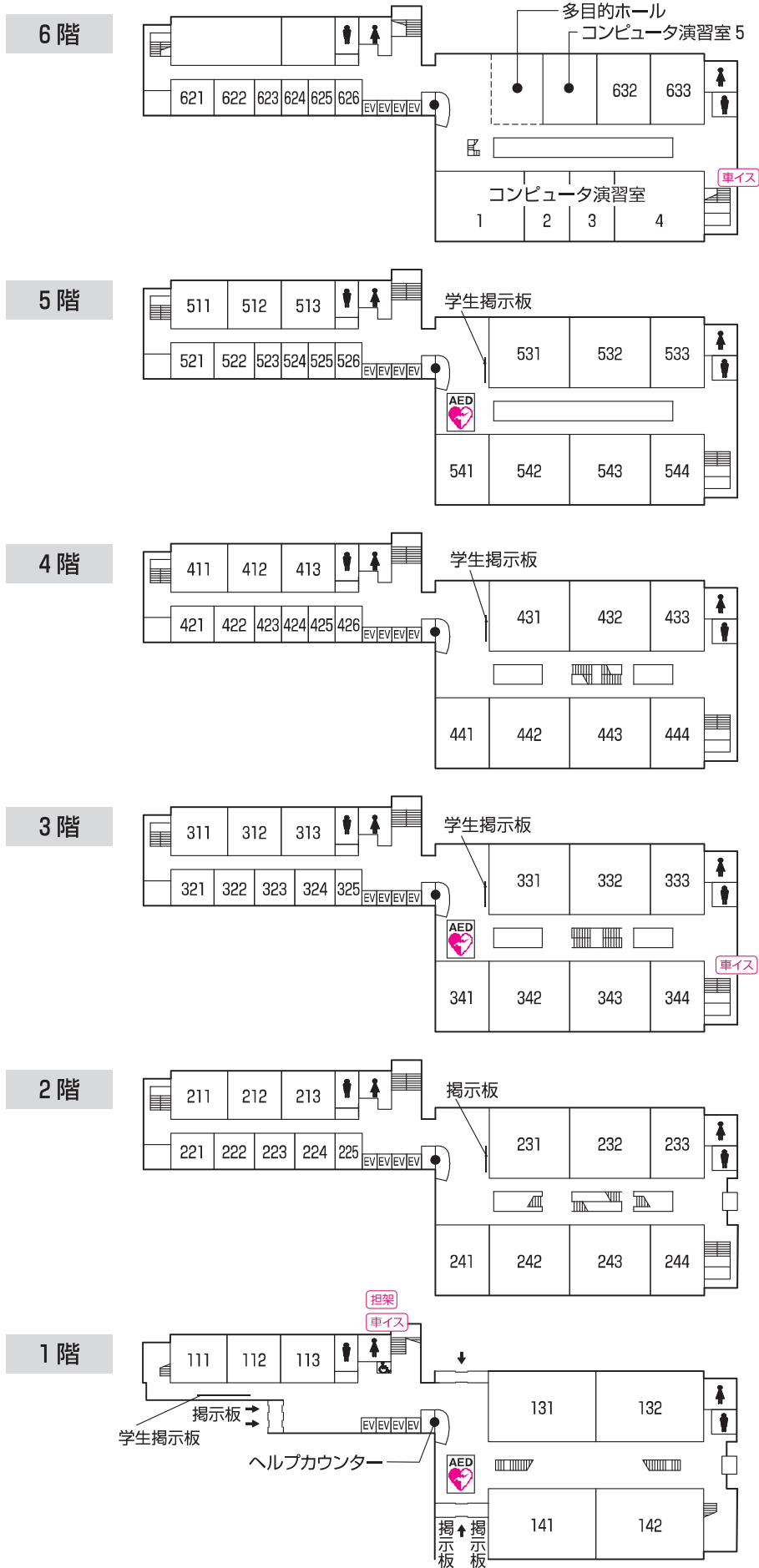
コース		食農振興支援者	食農教育・文化発信者	食農事業実践者	
開講区分	総合教育科目	概要	食農教育・文化発信者	食農事業実践者	
	全学共通科目	スポーツ関係科目	食農教育・文化発信者	食農事業実践者	
外国語科目	学部共通科目	課題別科目	食農教育・文化発信者	食農事業実践者	
		就職準備科目	食農教育・文化発信者	食農事業実践者	
専門教育科目	学科基礎科目	実用英語科目	英会話(一) 英会話(二)	農業経営、食農起業、フードスペシャリス ト、食品産業などに携わることを希望する学 生	
		初修外国語科目			
		人間関係科目	哲学 環境倫理	日本史 文化人類学	
		社会関係科目	法学入門 日本国憲法	日本国憲法 地理学	
		自然関係科目	生物学 数学	生物学 化学	
		専門共通科目	経営学入門	経営学入門 栽培学入門	
		創成型科目	地域再生・活性化	地域再生・活性化	
		専門基礎科目	民俗学	民俗学	
		専門コア科目	フードスペシャリスト論 グローバルゼーションと食品流通 調理学 食農と協同組合 食品機能学 フードコーディネイト論 行動経済学 農村女性論 食農果樹学	食育と食生活論 食農文化論 持続的農業論 食農果樹学 農業生産と気象 学習と参加の理論 比較食文化史 食農とメディア	フードスペシャリスト論 グローバルゼーションと食品流通 調理学 持続的農業論 食品機能学 食農果樹学 フードコーディネイト論 比較食文化史
		総合化科目	調理学実習 食品機能学実験	食農文化演習	調理学実習 食品機能学実験

注1) 必修科目は含んでいません。ただし、選択必修科目は含まれています。

注2) 教員については、所定の教職科目を履修する必要があります。

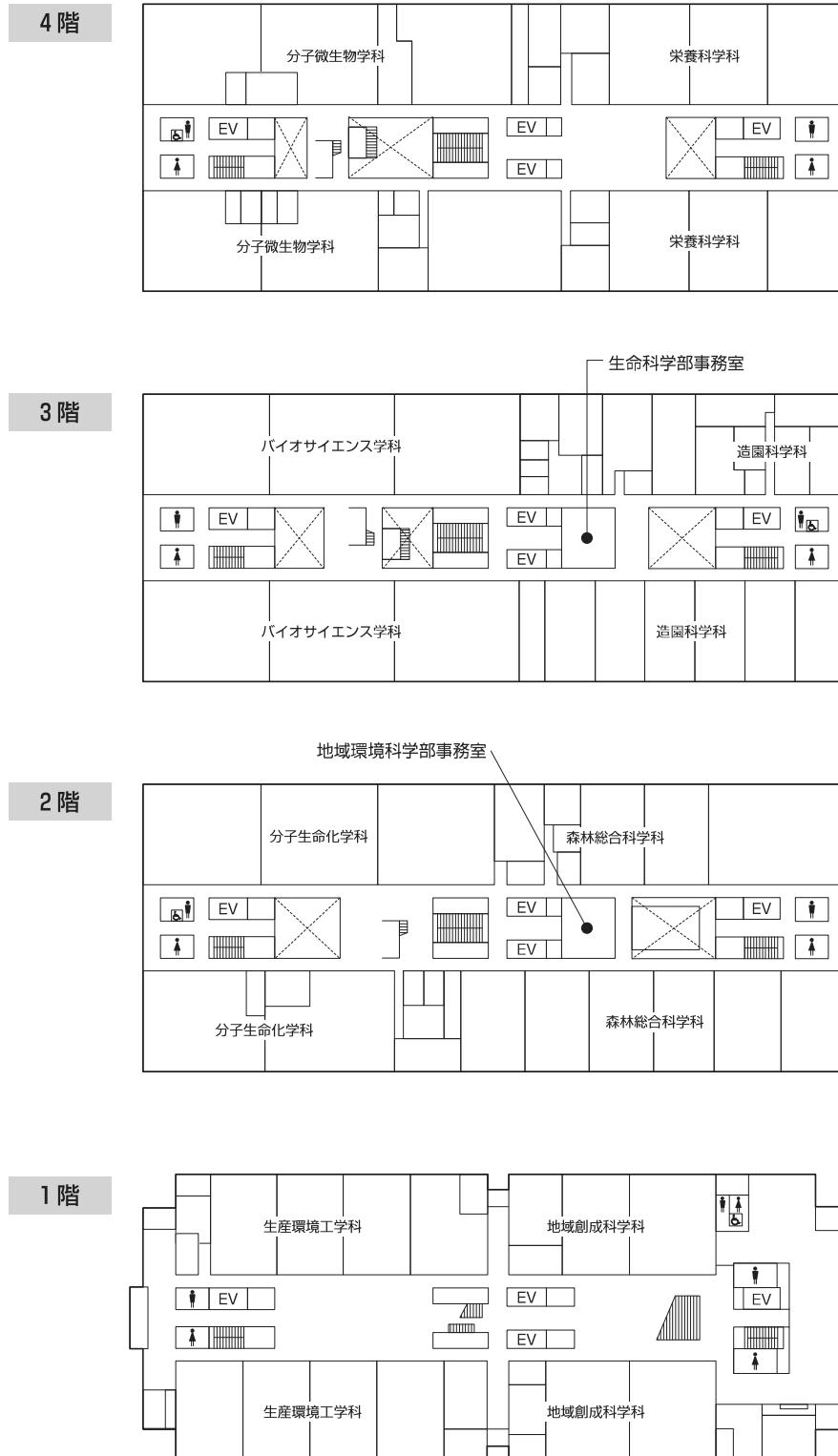
注3) フードスペシャリスト、食の6次産業化プロフェッショナルの資格取得を目指す場合は、所定の科目を履修する必要があります。

# 15 世田谷キャンパス1号館 教室配置図

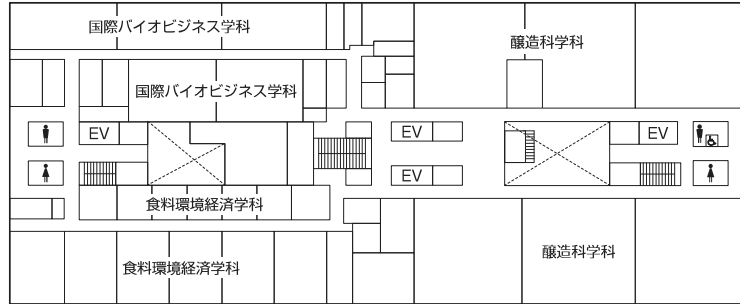


## 16 世田谷キャンパスサイエンスポート 教室配置図

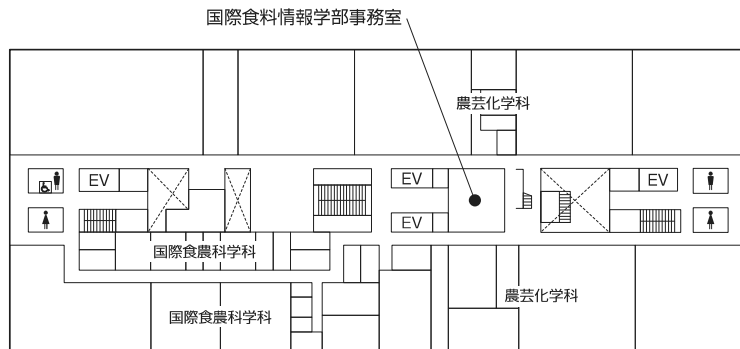
※入退館には、学生証が必要です。必ず学生証を携帯ください。



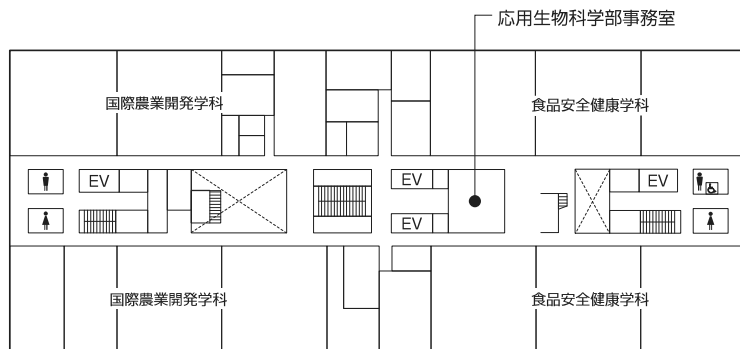
7階



6階



5階











学部事務室連絡先

階	学部事務室	電話番号	メールアドレス
2階	地域環境科学部	03-5477-2911	chiiki@nodai.ac.jp
3階	生命科学部	03-5477-2912	seimei@nodai.ac.jp
5階	応用生物科学部	03-5477-2917	ousei@nodai.ac.jp
6階	国際食料情報学部	03-5477-2918	kokusai@nodai.ac.jp

# 17 キャンパスマップ (世田谷)

## 校舎等配置図

-  自動体外式除細動器設置場所
-  多目的トイレ
-  オストメイト
-  身障者用駐車スペース
-  エレベーター
-  車イス
-  担架
-  避難経路



**1 グリーンアカデミー・ホール**  
 (株)農大常磐松 (2階) (保険関係・校友会)

**2 リサイクルステーション**  
 実験廃液処理室  
 (産業廃棄物, 実験廃液等)

**3 常磐松学生会館**  
 各同好会室 (1階~5階)  
 学生課管轄事務室 (1階)

**4 常磐松会館本館**  
 農友会各部室 (2階~5階)  
 全学応援団 (リーダー部・吹奏楽部・  
 チアリーダー部) (2階)  
 農大CO-OP (1階)  
 セブン・イレブン (1階)  
 ゆうちょ銀行ATM (1階)  
 セブン銀行ATM (1階)  
 学生課管轄事務室 (1階)

**5 18号館**  
 教育後援会 (9階)  
 実験室・実習室・演習室・製図室  
 (8階~3階・1階)

**6 17号館**  
 百周年記念講堂  
 カフェテリアグリーン (1階)  
 レストランすずしろ (1階)

**7 12号館**  
 生物資源ゲノム解析センター (6階)  
 食品加工技術センター (1・2階)

**8 農大サイエンスポート**  
 エアブリッジ (8階)  
 醸造科学科 (7階)  
 食料環境経済学科 (7階)  
 国際バイオビジネス学科 (7階)  
 国際食料情報学部事務室 (6階)  
 農芸化学科 (6階)  
 国際食農科学科 (6階)  
 応用生物科学部事務室 (5階)  
 食品安全健康学科 (5階)  
 国際農業開発学科 (5階)  
 栄養科学科 (4階)  
 分子微生物学科 (4階)  
 生命科学部事務室 (3階)  
 バイオサイエンス学科 (3階)  
 造園科学科 (3階)  
 地域環境科学部事務室 (2階)  
 分子生命化学科 (2階)  
 森林総合科学科 (2階)  
 生産環境工学科 (1階)  
 地域創成科学科 (1階)  
 大学総務課 (調達・検収) (1階)



**9 農大アカデミアセンター (図書館)**

- 理事長室・学長室 (9階)
- 財務会計課 (8階)
- 情報教育センター (6階)
- キャリアセンター (6階)
- 図書館 (3~7階)
- 学生課・学務課・教務課 (2階)
- グローバル連携センター (2階)
- 証明書自動発行機 (2階)
- 入学センター (1階)
- 大学総務課 (環境管理) (1階)
- 横井講堂 (1階)

**10 7号館**

- 実験室・実習室・演習室・製図室 (4階~1階)

**11 11号館**

- 製図室 (3階)
- 実習室 (2階)
- 教職・学術情報課程 (2階)
- 健康サポートセンター (1階)
- 学生相談室 (1階)

**12 15号館**

- 総合研究所 (2階)
- 物理学・生物学実験室
- 地学・化学実験室
- バイオ学生実験室
- 農大PCRセンター

**13 守衛室**

- 警備本部
- 正門警備室
- 三井住友銀行ATM

**14 国際センター**

- 校友会 (3階)
- 榎本ホール (2階)
- カンファレンスルーム1 (2階)
- カンファレンスルーム2 (2階)
- 農大マルシェ (1階)
- SAZAcoffee (1階)

## 18 実験・実習・演習室短縮名称

建屋	名称	短縮名	建屋	名称	短縮名	
1号館	6F コンピュータ演習室1	コンピ1	12号館	食品加工技術センター	11食品加工	
	6F コンピュータ演習室2	コンピ2	15号館	物理学・生物学実験室	15物理学E	
	6F コンピュータ演習室3	コンピ3		地学・化学実験室	15地学E	
	6F コンピュータ演習室4	コンピ4	17号館	百周年記念講堂	百周年	
	6F コンピュータ演習室5	コンピ5	18号館	1F 製図・演習室	1811	
7号館	工学大学院演習室	7院工学P		3F 生物系実験室	1831	
	工学各演習実験室	7工学各EP		4F 化学系実験室	1841	1841
	工学各実験室	7工学各E			化学系実験室	
	工学各演習室	7工学各P		5F 化学系実験室	1851	1851
	工作室	7工作室			化学系実験室	
	共通実験室	7共通E		6F 調理第一実習室	1861	
	共通製図室	7共通D		調理第二実習室	1862	
	森林総合科学科実験実習室	7森林EP		理化学第一実験室	1871	
	地域創成科学科実験実習室	7創成E		理化学第二実験室	1872	
11号館	第一製図室	11第一D		給食経営管理実習室	1863・1864	
	第二製図室	11第二D		8F 生物系実験室	1881	1881
	景観建設・技術分野演習室	11造園工P			生物系実験室	
	GIS演習室	11GISP	学生実験室	1883	1883	
	植物系実験室	11植物系E		学生実験室		1884
	教職模擬教室	11教職模擬	その他	桜丘アリーナ	アリーナ	
	栄養教育実習室	11栄養P		ロボット農業リサーチセンター	RARC	
	臨床栄養学実習室	11臨床P		森林総合科学科演習室	森林演習室	



農学

# 東京農業大学

世田谷キャンパス / 大学院・応用生物科学部  
生命科学部・地域環境科学部  
国際食料情報学部

厚木キャンパス / 大学院・農学部

北海道オホーツクキャンパス / 大学院・生物産業学部